

2012年度入学者用



平成24年度

全学教育科目 履修要項

—教育課程，全学教育の目的と目標，諸制度・手続—

基幹教育院

九州大学教育憲章

第1条（趣旨）

九州大学は、日本国民のみならず、世界中の人々からも支持される高等教育を一層推進するために、この教育憲章を定めることとする。

第2条（教育の目的）

九州大学の教育は、日本の様々な分野において指導的な役割を果たし、アジアをはじめ広く全世界で活躍する人材を輩出し、日本及び世界の発展に貢献することを目的とする。

第3条（人間性の原則）

九州大学の教育は、秀でた人間性を有する人材を育成し、上記の目的を達成するために、次のことを指向することとする。

- (a) 人間の尊厳を守り、生命を尊重すること。
- (b) 人格、才能並びに精神的及び肉体的な能力を発達させること。
- (c) 真理と正義を愛し、個性豊かな文化の創造をめざすこと。
- (d) 自然環境を守り、次世代に譲り渡すこと。

第4条（社会性の原則）

九州大学の教育は、秀でた社会性を有する人材を育成し、上記の目的を達成するために、次のことを指向することとする。

- (a) 自由な社会に積極的に参加し、勤労を尊び、責任ある生活を送ること。
- (b) 基本的人権を尊重すること。
- (c) 両性の平等を尊重すること。
- (d) 必要な政治的教養を含む市民的公共性を育成すること。

第5条（国際性の原則）

九州大学の教育は、秀でた国際性を有する人材を育成し、上記の目的を達成するために、次のことを指向することとする。

- (a) アジアをはじめ全世界の人々の文化的、社会的、経済的発展に寄与すること。
- (b) 種族的、国民的及び宗教的集団の間の理解、寛容及び友好を促進すること。
- (c) 世界の平和に貢献し、将来の世代を戦争の惨害から守ること。
- (d) 国際連合憲章の謳う原則を尊重すること。

第6条（専門性の原則）

九州大学の教育は、秀でた専門性を有する人材を育成し、上記の目的を達成するために、次のことを指向することとする。

- (a) 人間性の原則、社会性の原則及び国際性の原則並びに実際の生活に即して、専門性を深化、発展させること。
- (b) 科学技術の発達と学術文化の振興を融合させること。
- (c) 独創性、創造性を重視すること。
- (d) 専門家としての職業倫理を育成すること。
- (e) 学問の自由及び専門家の自律性を尊重すること。

第7条（一体性の原則及び職責の遂行等）

1. 九州大学は、全学一体となって、上記の教育目的及び原則の達成に取り組むこととする。九州大学の教職員及び学生は自己の使命を自覚し、その職責等の遂行に努めなければならない。
2. 前項の職責を遂行するために、教育研究組織の自治及び構成員の身分は尊重されなければならない。

九州大学では「九州大学教育憲章」に基づいた教育を行っています。

— 目 次 —

九州大学教育憲章	i
I 全学教育の受講にあたっての日常的事項	
1 全学教育の授業時間	1
2 全学教育に関する情報収集方法	1
3 問い合わせ窓口など	3
4 全学教育科目の公認欠席の取扱いについて	4
5 自然災害等における休講措置の対応について	5
II 諸制度・手続の解説	
1 九州大学の教育課程	6
2 履修に関する用語について	7
3 履修計画の立て方	8
4 履修登録の手順	8
5 試験について	10
6 不正受験行為・指示違反等について	10
7 成績について	11
8 GPA制度について	11
9 他大学での履修・学外試験の成績による単位認定について	12
10 授業の改善について	12
11 在学期間及び休学期間	13
12 転学部（学科）等	13
13 教育職員免許状の取得に関する全学教育科目の履修について	13
III 全学教育の目的と目標	
1 九州大学の全学教育の目的と目標	14
2 授業科目の構成	16
3 全学教育科目の各科目区分の目的・目標の解説	16
4 総合選択履修方式について	20
IV 各学部・学科の履修細目	
学部・学科別履修細目 目次	22
「履修細目」の見方	23
学部・学科別履修細目（進級条件、必要単位数表等）	25
V 規則、開講学期など	
九州大学全学教育科目履修規則（抄）	87
全学教育科目の履修・試験・成績に関する内規	89
全学教育科目の開講学期	90
付録 聴講届	95
九州大学大学院入学試験の外国語試験科目について	99
伊都地区センターゾーン全体図	101
伊都地区センターゾーン教室等配置図	102

I. 全学教育の受講にあたっての日常的事項

1 全学教育の授業時間

時 限		1	2	3	4	5
授業時間	開始	8:40	10:30	13:00	14:50	16:40
	終了	10:10	12:00	14:30	16:20	18:10

2 全学教育に関する情報収集方法

学生の皆さんへの各種連絡は、原則として、すべて掲示により行います。

伊都地区センターゾーンの**公用掲示板**と**電子掲示板**を毎日見て、日々の情報収集を行ってください。

※掲示の見落としのために不利益があったとしても、学生自身の責任となります。

(1) 全学教育科目の時間割

全学教育科目の時間割には次のものがあります。

全学教育科目授業時間割(その1)	原則として伊都地区で開講される全学教育科目の時間割。
全学教育科目授業時間割(その2)	箱崎・病院・大橋及び伊都地区で開講される全学教育科目（高年次履修科目、留学生センター開講科目）の時間割。
全学教育科目授業時間割(その3)	言語文化研究院箱崎分室で開講される全学教育科目（言語文化自由選択科目）の時間割。

- ・1年生は入学手続き時に配付された「全学教育科目授業時間割(その1)」を1年間使用してください。
- ・2年生には全学教育教務係窓口で2年生用の「全学教育科目授業時間割(その1)」を配付します。配付時期は掲示でお知らせします。
- ・「全学教育科目授業時間割(その1)」の再配付は行いませんので、紛失しないようにしてください。
- ・「全学教育科目授業時間割(その2)・(その3)」は掲示でお知らせします。

(2) 休講、補講、臨時の教室変更、全般的なお知らせ（一般情報）

全学教育科目の休講、補講、臨時の教室変更、全般的なお知らせ等は次の①～③で確認してください。

- ① 伊都地区センターゾーン内の電子掲示板
- ② 全学教育ホームページ <http://rche.kyushu-u.ac.jp/>
- ③ 携帯電話のポータルサイト <http://zkinfo.gened.kyushu-u.ac.jp/m/> →



(3) 時間割変更、履修・授業・試験関係の連絡事項等

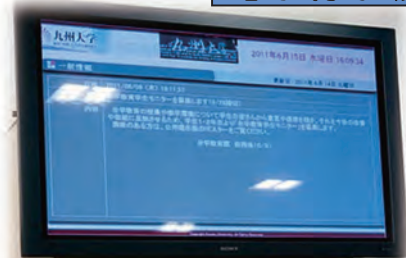
全学教育科目の時間割変更、履修・授業・試験関係の連絡事項等は次の①・②の掲示で確認してください。

- ① 伊都地区センターゾーン内の公用掲示板…全学教育科目のほか、低年次生対象の専攻教育科目など所属学部からの情報も掲示。
- ② 所属学部の掲示板…各地区開講の全学教育科目、高年次生対象の全学教育科目の情報を掲示。

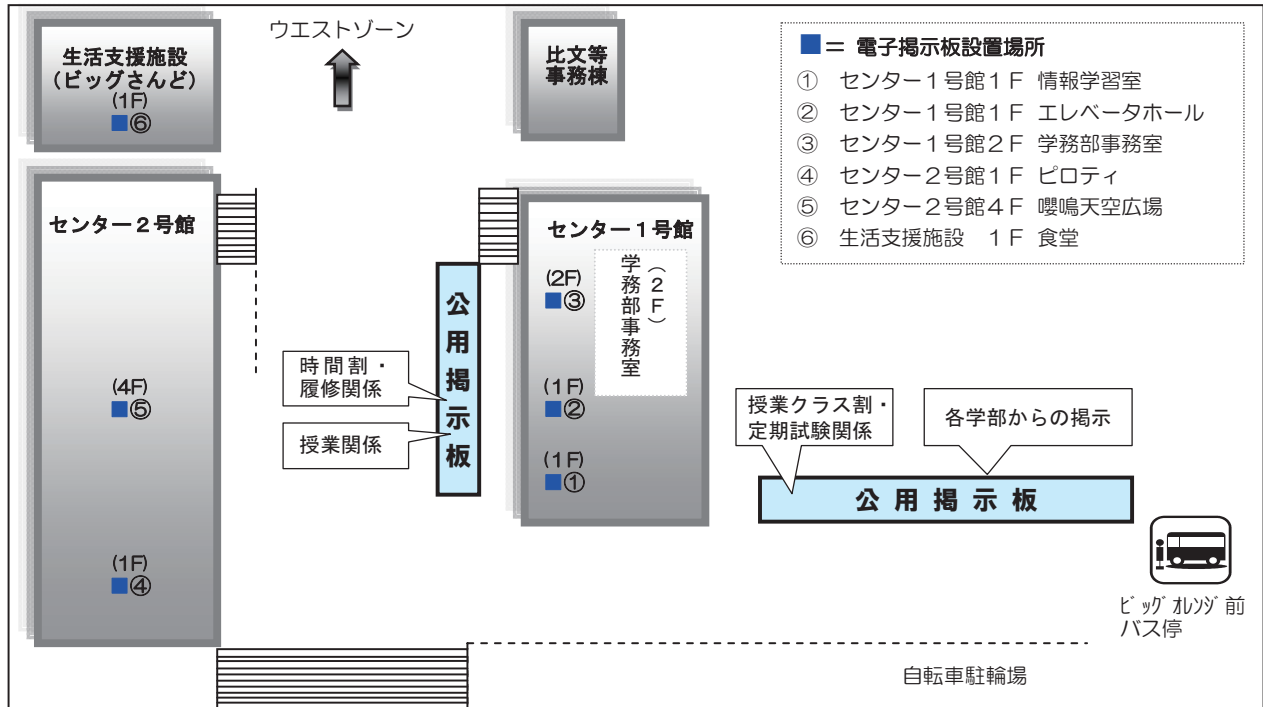
公用 掲 示 板



電 子 掲 示 板



〔公用掲示板・電子掲示板の設置場所－伊都地区センターゾーン略図－〕



(4) 授業内容 (各授業の具体的な情報) …シラバス

シラバスには、授業を受ける上で必要な情報が記載されていますので、必ずシラバスを見た上で授業に臨んでください。

【シラバス掲載内容】

授業概要，学習目標，授業の進行計画，試験・成績評価の方針，学習相談の方法，テキスト・参考書等。

また，試験範囲や提出レポートの内容など，授業の進行にしたがって授業計画の変更や学生への新しい情報が掲載されることがあります。

【シラバスの掲載HP】

九州大学HP (<http://www.kyushu-u.ac.jp/>) → 「学生の皆様」 → 「教務情報 (履修登録等)」 → 「学部：全学教育」 → 「授業シラバス」

全学教育

2012(平成24)年度

前期

- 共通コア科目
- コアセミナー
- 文系コア科目
- 理系コア科目
- 少人数セミナー
- 総合科目
- 高年次教養科目
- 言語文化基礎科目
- 言語文化自由選択科目
- 言語文化古典語科目
- 健康・スポーツ科学科目
- 文系基礎科目
- 理系基礎科目 共通基礎科目
- 理系基礎科目 個別基礎科目
- 情報基礎科目

時間割表示

2011(平成23)年度

- 一覧表示
- 前期
- 後期
- 時間割表示

授業情報表示

講義コード	12543001
授業科目名	社会性
講義科目	
授業科目区分	共通コア科目
開講年度	2012
開講学期	前期
曜日時間	水1
必修選択	
単位数	2.0
担当教員	〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
対象学年	
対象学部	学部1年
開講地区	伊都地区
履修条件	
授業概要	「平和と共生」(〇〇担当)では・・・ 「社会と制度」(〇〇担当)では・・・ 「自然と環境」(〇〇担当)では・・・
全体の教育目標	教育憲章の三原則に共通する人間の社会性への理解を深めるため、社会と人間との関わりを、社会と制度、平和と共生、自然と環境の三つの視点から考察します。社会と制度では、人間が社会を作り、社会が人間を作るという人間の社会的関係性を、現代人が抱えている近代特有の諸問題に照して考察します。平和と共生では、現代、人間の諸価値が維持されるために構築の課題となって平和と共生というテーマに関して、具体的な問題状況を概観し、解決の方向性を考察します。自然と環境では、人間の諸活動と環境との関係について、具体的な事例に基づいて科学的に理解を深め、問題解決の方向性を導きます。
個別の学習目標	「平和と共生」(〇〇担当)・・・・・・・・・・。「社会と制度」・・・・・・・・・・。「自然と環境」(〇〇担当)・・・・・・・・・・。
授業計画	

3 問い合わせ窓口など

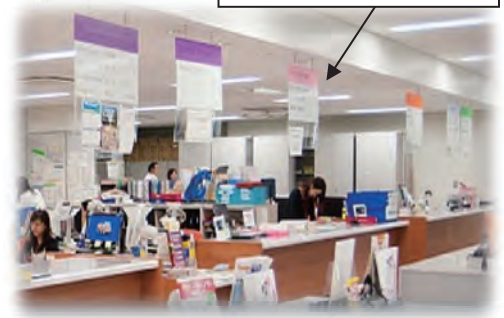
(1) 問い合わせ窓口

全学教育科目の授業・履修・試験関係の問い合わせ窓口は、**全学教育課全学教育教務係（伊都地区センター1号館2階）**です。

疑問や不明な点があれば、窓口で相談し、誤解や不注意のために自ら、不利益を招くことがないように注意してください。

また、間違いを防ぐために、電話及びEメールによる質問等は控え、必ず、全学教育教務係の窓口まで出向くようにしてください。

全学教育教務係



《窓口時間》

平日 8:30～17:15

ただし、4・5・10月の授業期間及び定期試験期間は、平日 8:30～18:15

(2) 成績証明書の交付について

奨学金、留学、その他の理由で成績証明書（和文）が必要な場合は、学務部事務室内の**証明書自動発行機**から取得できます。成績証明書は年間発行枚数が限られていますので、成績や取得単位等の確認のような目的のためには取得しないようにしてください。

なお、履修した科目の成績が成績証明書に反映されるのは、おおむね翌学期になります。学期末に発行された成績証明書には、当該学期に修得した成績の一部が未掲載となることがありますので、ご注意ください。

英文の成績証明書の発行については、全学教育教務係へ申請してください。申請から7日後の発行になります。

(3) 学生証・学生番号

全学生に学生証を交付しますが、様々な場面で学生証は必要になりますので、常に携帯してください。

学生番号は、出席カード、試験の答案、レポートや諸届に氏名と共に必ず記入しなければなりません。その際、学生番号末尾のアルファベット1文字を含めて正確にはっきりと記入してください。

(4) レポート等の提出場所

「全学教育課のレポートボックス」にレポート等を提出するよう指示があった場合は、学務部事務室（センター1号館2階）の室内に、授業ごとにレポートボックスを設けていますので、提出期限に注意して**全学教育課の窓口時間内に提出**してください。

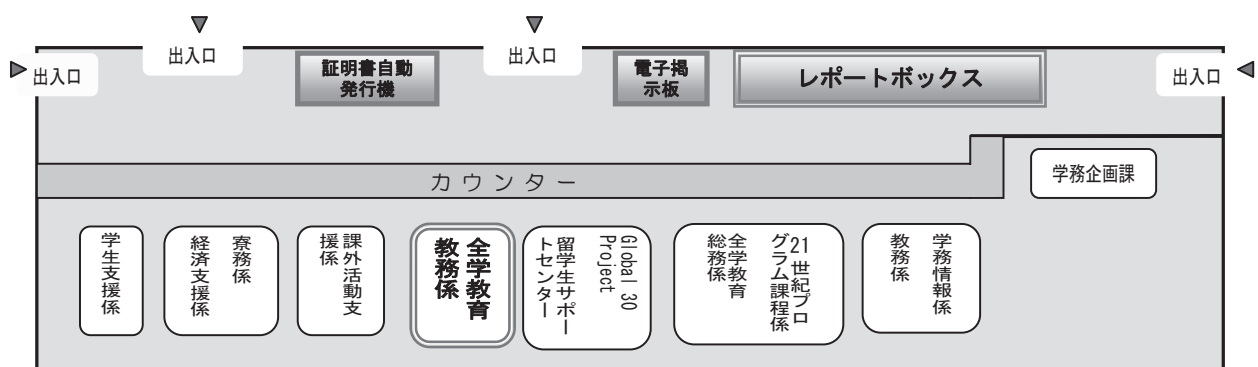
《レポートを提出できる時間》

平日 8:30～17:15

ただし、4・5・10月の授業期間及び定期試験期間は、平日 8:30～18:15



〔学務部事務室（センター1号館2階）略図〕



4 全学教育科目の公認欠席の取扱いについて

全学教育科目においては、原則として、下記の事由により欠席となる授業について、所定の手続きにより公認欠席として取り扱います。

〔公認欠席に該当する事由〕	〔必要書類〕
① インフルエンザなどの感染症 （*学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症）にかかった場合	診断書 ※ただし、インフルエンザに限っては、当面の間、状況に応じて添付書類を簡素化できますので全学教育教務係に相談のこと
② 本学が、①の感染症にかかったおそれがあると認め、出校停止を指示した場合	
③ 2親等以内の親族が死亡した場合	会葬礼状 等の当該事由が確認できる書面
④ 裁判員候補者として裁判所に出向く場合及び裁判員として職務に従事する場合	選任手続き期間の通知（ 呼出状 ）等
⑤ 天災・交通機関の障害による場合	状況により交通事業者の証明

〔申請方法〕

- ・全学教育教務係で所定様式「公欠確認書・欠席届」を受領し、必要書類を添え、同係に提出してください。
- ・事前の届け出ができない場合は、欠席事由の解消後、1週間以内に申請してください。
- ・①～③の事由については、速やかに全学教育教務係に電話連絡のうえ、欠席事由解消後1週間以内に手続きを行ってください。
- ・伊都地区以外で行われる全学教育科目（コアセミナー、高年次教養科目、言語文化科目等）についても同様の取扱いとなりますので、全学教育教務係へ連絡のうえ、指示に従ってください。

〔*学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症（①の感染症）〕

《第一種》エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）及び鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清亜鉛がH5N1であるものに限る。次号及び第十九条第一項第二号イにおいて「鳥インフルエンザ（H5N1）」という。）

《第二種》インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜熱及び結核

《第三種》コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

○感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条第7項から第9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、前項の規定にかかわらず、第一種の感染症とみなす。

5 自然災害等における休講措置の対応について〔伊都地区開講の全学教育科目〕

(1) 授業等開始前（午前8時以前）における取扱い

- ① 気象警報発令等により、JR筑肥線、昭和バスのいずれかが運転を休止（以下「運休」という。）した場合は、次に掲げる基準により、伊都地区開講の全学教育科目の**休講措置を講じます。**

運休解除状況	授業等の取扱い
午前6時の時点で解除されている場合	通常どおり実施
午前6時の時点で解除されていない場合	午前休講
午前6時～午前8時に運休となった場合	午前休講
午前8時以前に運休となり、午前10時の時点で解除されている場合	午後実施
午前8時以前に運休となり、午前10時の時点で解除されていない場合	全日休講

- ② ストライキにより、JR筑肥線、昭和バスのいずれかが運休した場合も同様に取扱いします。

(2) 授業等開始後（午前8時以降）における取扱い

適宜、休講措置を講じます。

- (3) 自然災害を被る恐れがある場合や、その他の要因により、授業等の実施（継続）が困難と判断した場合、休講措置を講じることがあります。

●自然災害等における休講措置の連絡方法について

自然災害等で伊都地区開講の全学教育科目の授業が一斉に休講となる場合は、「**学生ポータルシステム**」に掲載します。携帯電話で見ることができますので、URLを登録してください。

（学生ポータルシステム）

<https://gkmw1.ofc.kyushu-u.ac.jp/campusp/skeitai/start.do>



Campusmate/Portal携帯

ユーザID

パスワード

①ログイン

ユーザIDとパスワードは、「学生用Webシステム」と同じものを入力してください。

ゲスト用ユーザID：9999 ゲスト用パスワード：9999 でもログインできます。

②「お知らせ」を押す

<個人情報件数>
九大 一郎さん

＝貴方宛の伝言＝
21件
new 06/19 13:31

＝休講情報＝
01件

＝新着情報＝
01件

＝時間変更＝
01件

＝講義連絡＝
01件

＝お知らせ＝
24件
new 06/08 08:50

MENU

③タイトル下の「詳細」を押す

貴方宛の伝言
＝一覧画面＝

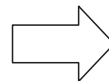
新着のみ表示
再表示

O/O XX:XX
【緊急】本日(〇月〇日)
午前の伊都地区の全学教育は一斉休講

詳細

11/13 17:08
test
詳細

TOP
MENU



貴方宛の伝言
＝詳細画面＝

【タイトル】
【緊急】本日(〇月〇日)
午前の伊都地区の全学教育は一斉休講

【詳細】
筑肥線運休のため、本日(〇月〇日)午前の伊都地区での全学教育の授業は一斉休講します。

新着にする

一覧へ
TOP
MENU

※通常の休講情報は、伊都地区センターゾーン内の電子掲示板や、携帯電話のポータルサイト (<http://zkinfo.gened.kyushu-u.ac.jp/m/>) をご覧ください。

II. 諸制度・手続の解説

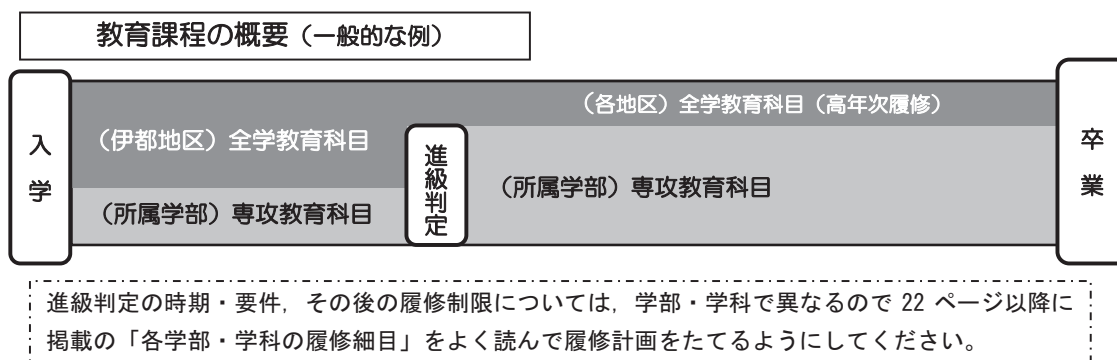
1 九州大学の教育課程

九州大学の教育課程は大きく**全学教育**と**専攻教育**に分かれており、全学教育と専攻教育とは有機的な連関のもとで4年(6年)一貫の教育として行います。

全学教育は、本学の総合大学としての機能を生かす形で、全学教育科目を構成し、全学的に協力して一体となって授業を実施しています。また、専攻教育は各学部・学科の教育目的・目標のもとで専攻教育科目を構成して授業を実施しています。学生は入学後の1年半の期間(医、歯、薬、芸術工学部は1年)は、主に全学教育科目を伊都地区(センターゾーン)で学習します。その間に行う専攻教育科目は、原則として1週間に1日、所属学部のキャンパスに移動して学習します(下表参照)。また、その日のことを「**専攻教育日**」と呼びます。

学習を系統的に行う観点から、ある一定の時期にそれまでの修得単位をチェックし、所定の条件を満たさない場合は、それ以後の専攻教育科目の履修を制限するという意味での「**進級制度**」を設けています。(ただし、法学部、経済学部経済工学科、21世紀プログラムには進級制度は設けられていません。)

また、入学時に専攻・コースが決定していない学部・学科では、それぞれ所定の時期に希望調査に基づく**専攻**、**コース**の決定が行われます。



全学教育科目と専攻教育科目の1週間の実施日数

学部	学期	所在地	第1学期 (1年前期)	第2学期 (1年後期)	第3学期 (2年前期)	第4学期 (2年後期)	第5学期～ (3年～)
文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部(数学科以外) 工学部(建築学科) 農学部		箱崎	(全学) 4日 (専攻) 1日			(全学) 英語1科目(箱崎) (専攻) 5日	(専攻) 5日
医学部(医学科・生命科学科) 歯学部 薬学部		病院	(全学) 4日 (専攻) 1日		(全学) 2日 (専攻) 3日	(全学) 英語1科目(病院) (専攻) 5日	(専攻) 5日
医学部(保健学科)		病院	(全学) 4日 (専攻) 1日		(全学) 英語1科目(病院) (専攻) 5日		(専攻) 5日
芸術工学部		大橋	(全学) 4日 (専攻) 1日		(全学) 2日 (専攻) 3日	(全学) 英語1科目(大橋) (専攻) 5日	(専攻) 5日
理学部(数学科) 工学部(建築学科以外)		伊都	(全学) 4日 (専攻) 1日			(全学) 英語1科目(伊都) (専攻) 5日	(専攻) 5日
21世紀プログラム		主として伊都 (全学教育科目・専攻教育科目)			選択した科目の開講地区 (全学教育科目・専攻教育科目)		

※3年次以降を対象として全学教育科目(高年次履修対象科目)が伊都・箱崎・病院・大橋地区で開講されます。

2 履修に関する用語について

(1) 「カリキュラム」とは

カリキュラムは、大学が提供する正規の授業科目の全体を意味し、教育目標を実現するために、学習内容や教育方法を組織化した系統的な教育システムを指す言葉です。そのため、学部毎に定められた範囲と順番で科目を履修し、学習経験を積むことで、大学教育に求められる知識、原理、価値、技能を、学生は卒業時まで獲得できるようになっています。

(2) 「単位」とは

「単位」は、開講されている授業科目を履修し、試験などに合格することにより与えられます。1単位の授業科目は授業時間に事前事後の学習を含めて45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

全学教育科目においては、授業方法に応じ、各授業科目の単位数を次のように計算します。

①講義

毎週1時限(2時間)、1学期(15週)の授業をもって2単位とします。

ただし、次の6科目については、演習付きのため1学期(15週)の授業をもって1.5単位とします。

微分積分学・同演習A, B, 線形代数・同演習A, B, 力学基礎・同演習A, B

力学基礎・同演習については、毎週2時限(4時間)、1学期(15週)の授業をもって3単位とします。

なお、講義科目でも、科目によっては1単位の科目がありますので注意してください。

②演習、言語文化基礎科目、言語文化古典語科目、身体運動科学実習Ⅰ～Ⅳ

毎週1時限(2時間)、1学期(15週)の授業をもって1単位とします。

③実験・実習・製図

毎週2時限(4時間)、1学期(15週)の授業をもって2単位とします。

(3) 「学期」について

全学教育における学期は次のように区分しています。

第一学期 入学第1年次 4月1日～ 9月30日

第二学期 入学第1年次 10月1日～ 翌年3月31日

第三学期 入学第2年次 4月1日～ 9月30日

第四学期 入学第2年次 10月1日～ 翌年3月31日

奇数学期を前期、偶数学期を後期とも呼びます。

(4) 「クラス」の表記

文・教育・法・経済学部を「文科」、理・医・歯・薬・工・芸術工・農学部を「理科」と総称し、文科を「L」、理科を「S」と表記します。例えば、文科1年1組を「L1-1」、理科2年1組を「S2-1」とあらわします。

なお、21世紀プログラムは「N」と表記します。

(5) 必修科目・選択必修科目・推奨科目・選択科目

必修科目は、卒業するために単位を修得しなければならない科目です。進級(あるいはコース選択)の要件となっている場合があります。

選択必修科目は、科目群の中から選択して指定された単位数を取得しなければならない科目です。

推奨科目は、各学部・学科が履修を推奨する科目です。

選択科目は、自由に選択できる科目です。

(6) 「集中講義」

毎週1時限(または2時限)、15週の授業を実施するのではなく、授業期間を集中して行う授業実施方法をさします。例えば1日3時限の授業を5日間連続で行う場合や1日2時限の授業を隔週で行う場合などがあります。

全学教育科目の集中講義の履修登録、授業期間、実施場所等の詳細は、公用掲示板の掲示でお知らせします。

(7) 「レポート」の意味、レポート作成時の厳守事項

「レポート」とは、調査・研究を踏まえた論理的な主張を行う文章のことです。レポートを作成する時に文献やWebから引用する場合は、カギ括弧でくくるなど、本文と区別した上で、出典を必ず明示してください。引用した文章をそのまま本文として使用することは剽窃(ひょうせつ)と呼ばれる禁止行為であり、さらに著作権法違反にもなります。

3 履修計画の立て方

①「全学教育科目履修要項」を見る → カリキュラムを理解する

全学教育の目的・目標と履修すべき全学教育科目等，必要な単位数，進級条件等を理解してください。



②「全学教育科目時間割」を見る → 1週間の履修計画を立てる



③「全学教育科目履修の手引き」を見る → 各科目の概要を知る

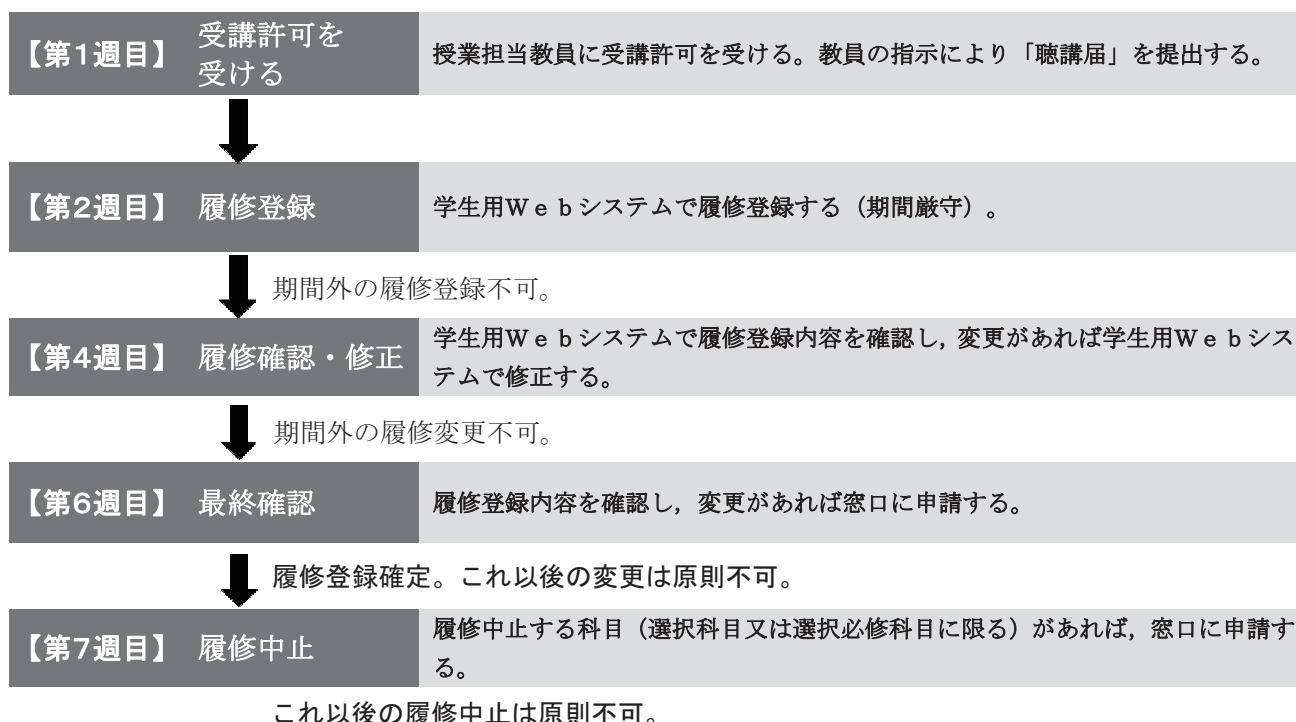
各科目の授業概要を把握してください。また，選択科目については受講する科目を考えておきましょう。



④「シラバスWeb」を見る → 何をどのように学ぶかを理解する

- ・各科目のシラバス（授業計画）をみて，学習目標，具体的な授業内容，授業の進行計画，成績評価の方針を理解しておいてください。
- ・授業の進行計画や使用テキスト，参考文献の欄を参照し，予習・復習や自主学習を行ってください。
- ・試験範囲や提出レポート内容など，その他の指示がシラバスに掲載されることがありますので注意してください。

4 履修登録の手順 （期間は掲示により確認してください。）



《 履修登録の手続きに関する注意事項 》

(1) 受講許可を受ける期間（第1週目）

- ・授業担当教員に「聴講届」を提出し、受講許可を受けてください。
- ・受講クラスが指定されている科目などでは「聴講届」を提出しなくてもよい場合がありますので、「聴講届」の提出にあたっては授業担当教員の指示に従ってください。
- ・第1週目が休講となった科目は、第2週目に授業担当教員に提出して受講許可を受けてください。
- ・「聴講届」は「全学教育科目履修要項」巻末の付録を使用してください。なお、入学年度で色が指定されていますので、必ず指定された色の「聴講届」を使用してください。
平成24年度入学生は橙色、平成23年度入学生は空色、平成22年度以前入学生は白色です。白色の「聴講届」は全学教育課全学教育教務係の窓口で配付します。
- ・教室定員及び設備等のため、受講を制限することがあります。適切な授業環境にするための措置ですので、ご理解願います。

(2) 履修登録期間（第2週目）

- ・必ず期間内に「学生用Webシステム」により、履修登録を行ってください。
- ・学生用Webシステムの操作方法は、別途配付の『学務情報システム利用の手引き（学生用Webシステム操作マニュアル）』に記載されています。または九州大学ホームページに掲載しています。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/student/education/rishu.php>

（九州大学HP>学生の皆様>教務情報（履修登録等）>履修登録・成績確認）

- ・専攻教育科目の履修登録期間及び履修登録方法については、各学部・学科の指示に従ってください。
- ・履修する科目は、すべて登録してください。登録漏れの科目は、たとえ授業に出席し、かつ試験を受け十分に学習したという実績があっても、単位は認定されません。
- ・曜日・時限・科目名・担当教員を確認して登録してください。
- ・学年・学期で履修登録に関する注意事項が異なりますので、必ず公用掲示板の掲示で確認してください。
- ・履修登録するのみで授業に出席していないなどの場合は、履修放棄とみなされ、「F（不合格）」の評価になります。

(3) 履修確認・修正期間（第4週目）

履修登録の内容（科目名・曜日・時限・授業担当教員名）が正しく登録されているかを「学生用Webシステム」で確認してください。また、この期間では、登録内容の変更（追加、削除）が学生用Webシステムでできます。

(4) 最終確認期間（第6週目）

- ・第4週目「追加、削除」した内容が正しく登録されているかを確認してください。
- ・登録内容を変更する場合は、全学教育課全学教育教務係又は所属学部の学生係に申し出てください。
最終確認期間終了により履修登録が確定するため、登録内容の変更は原則としてできなくなりますので、注意してください。

(5) 履修中止期間（第7週目）

- ・授業内容が想定していたものと異なっていたり、履修上必要な知識が不足している等の理由で履修を中止したい場合に、「履修中止」の申請を全学教育課全学教育教務係又は所属学部の学生係で行うことができます。履修中止した科目の成績は「W」と標記され、GPAの値には反映されません。
- ・履修中止が申請できる科目は、選択（選択必修）科目です。必修科目と集中講義科目は、申請できません。
- ・履修中止期間終了後の「履修中止」は認めません。ただし、修学途中で、病気や特別な事情等で修学が継続できない場合には、クラス指導教員または修学指導相談員からの申請により、履修中止を認める制度があります。

《 履修に関する注意事項 》

- (1) 時間割で各自のクラスに割り当てられた科目を履修してください。特に、共通コア科目、文系コア科目、理系コア科目については、1年生が所属クラス以外で履修することはできません。
なお、「身体運動科学実習Ⅰ、Ⅱ」については、時間割上で割り当てられたクラスに所属する学生の履修が優先されます。
- (2) 同一学期の同じ曜日・時限に開講されている科目を複数履修することはできません。
- (3) 同一名称の科目は1科目しか履修できません。ただし、言語文化科目等の一部の科目については、この限りではありません。
- (4) 「学生用Webシステム」の履修登録画面に表示されている科目であっても、学年や所属学部により履修できない科目や履修するための事前手続きが必要な科目がありますので、公用掲示板で履修についての掲示を必ず確認してください。
- (5) 受講制限により受講を許可されなかった科目を履修登録してしまった場合は、履修最終確認期間（第6週目）までに必ず各自で履修登録を削除してください。そのままにした場合は、「F（不合格）」の評価になります。

5 試験について

- (1) 履修登録していない科目の受験は認められません。
- (2) 全学教育科目の試験については「定期試験」と「教場試験」の2種類があり、取り扱いが異なります。

《定期試験》

【実施期間】各学期末（前期は8月、後期は2月）

【試験実施連絡】全学教育科目定期試験時間割（配布・掲示時期及び変更箇所は、掲示で連絡します。）

【試験室】試験日の3日前に、伊都地区の公用掲示板に掲示します。

【追試験】

・次の①～③の追試験受験資格に該当する事情が発生した場合、直ちに全学教育教務係で手続きしてください。

- ①病気（医師の診断書が必要）
- ②2親等以内の親族・姻族及び配偶者の死亡等（会葬礼状等が必要）
- ③その他、①、②に準ずる正当な理由によるもの

・追試験の成績は、得点の90%以下とします。（ただし、公認欠席の理由による場合を除きます。）

・追試験を希望する学生は、原則として**該当科目の定期試験終了後3日以内**に、出願理由を証明する書類と科目毎の所定の願書を**全学教育教務係に提出**してください。（追試験の最終出願締切日は定期試験最終日の翌日です。）

いかなる出願理由であっても理由を証明する書類がなければ追試験の対象となりません。

《教場試験》

【実施期間】授業実施期間

【試験実施連絡】授業中の教員の告知に基づき実施

【試験室】授業実施教室。教室変更がある場合は、電子掲示板の「教室変更」又は公用掲示板の掲示で連絡します。

【追試験】病気や2親等以内の親族の死亡などにより試験が受験できない場合、**直ちに授業担当教員へ追試験の実施が可能かどうかを相談**してください。公認欠席に該当する事由で欠席する場合は、全学教育教務係へ連絡してください。

※ 教場試験実施日等については、掲示による通知がない場合がありますので、授業中の担当教員からの告知に注意して、正しく把握し、試験実施日に欠席することがないようにしてください。

6 不正受験行為・指示違反等について

不正受験行為・指示違反等が発見された場合は、次のような厳しい措置が行われます。

※「**不正受験行為と認定されれば、当該学期の全学教育科目の履修を、実験、実習、実技科目を除き、原則としてすべて無効とする。**」

たとえ、試験勉強のメモのつもりでも、試験開始後に机上や机の中などにそのようなものが見つければ、不正受験行為と認定される可能性がありますので、十分気をつけて、公正な態度で試験に臨んでください。

7 成績について

- (1) 各科目の単位は、授業終了後その成績によって与えられます。
- (2) 成績は試験の結果や平素の学習状態に基づいて評価されます。
なお、実験、実習、演習の科目については平常の学習成績を試験にかえることがあります。
- (3) 成績は100点法により採点し、60点以上を合格とします。
評点は、次の基準により、A、B、C、D、Fの評語で表わします。

**Aは100点～90点、Bは89点～80点、Cは79点～70点、Dは69点～60点、Fは59点～0点
共通コア科目の成績は、合格をR、不合格をFの評語で表わします。**

- (4) 成績は、試験終了後にその結果を学生用Webシステムにより発表します。評点は発表しません。
なお、別途掲示でお知らせする成績確認期間にその掲載内容に対する問い合わせがなければ、当該学期に履修・受験した科目の成績は確定されます。後での成績についての問い合わせは受けつけられませんので、必ず所定の期間に成績を確認し、履修・受験した科目の成績が表示されていることを確認してください。
- (5) 一度修得した単位は、学生の希望によって取り消すことはできません。
また、一度修得した単位を更に修得することはできません。

8 GPA制度について

本学では、平成19年度入学者より**GPA (Grade Point Average) 制度**を導入しています。学生の学習意欲を高めることを目的とし、自分自身の学修計画に責任を持ち、履修登録した科目を自主的、意欲的に学修することを促すための制度です。

GPAとは、科目毎の5段階の評価（A、B、C、D、F）を4～0までのGP（Grade Point）に置き換えて単位数を掛け、その総和（GPT：Grade Point Total）を履修登録単位数の合計で割った平均点です。

- ・ $GPA = GPT / \text{履修登録単位数の合計}$
- ・ $GPT = [GP \times \text{単位数}] \text{の総和}$

各評価のGPとその意味は、次のとおりです。

評語	評点	GP	意味	
A	100点～90点	4	特に優れている	Excellent
B	89点～80点	3	優れている	Good
C	79点～70点	2	普通である	Fair
D	69点～60点	1	一応の学修成果があり、単位は認める	Pass
F	59点以下	0	不合格	Fail
P		1	学習到達度再調査による合格	Pass
W			履修中止	Withdrawal
R			認定科目（合否判定科目等、及び本学以外で修得した科目を単位として認めたもの）	Recognition

- (注) 1. 「D」以上及び「P」を合格、「F」を不合格とする。
2. 「W」及び「R」は、GPAの対象外とする。
※「合否判定科目等」とは、評点を付さずに「合・否」等（2段階）で評価する科目を指す。

〔GPA対象外の全学教育科目〕

- ・ 共通コア科目（全学部）
- ・ コアセミナー（理学部化学科・数学科、医学部保健学科、工学部物質科学工学科・地球環境工学科・エネルギー科学科、芸術工学部、農学部）

〔GPAに関する注意事項〕

- ・履修を途中で放棄した場合には、Fの評価となりGPA値に反映されます。なお、選択（選択必修）科目を履修して履修中止期間に履修中止の手続きをすれば、履修放棄にはなりません。
- ・一度不合格となった科目を再履修し単位を修得しても、不合格となった成績もGPA値に反映されます。
- ・授業料免除・各種奨学金・留学等の支援対象者の選考に利用されることがあります。また、学部・学科によっては、2年次以降のコース分け、転学部（学科）等に利用されることがあります。

GPA制度について <http://www.kyushu-u.ac.jp/student/education/rishu.php>

九州大学ホームページ > 学生の皆様 > 教務情報 > 履修登録・成績確認

9 他大学での履修・学外試験の成績による単位認定について

以下の①～③により全学教育科目の単位として認定された場合は、「R」の評語で成績が表されます。「R」はGPAの対象外です。

① 本学との協定等により他大学で修得した単位

- ・本学と他大学との協定により、本学学生に開放された他大学の科目を履修して単位を修得した場合に限り、履修手続方法などについては、公用掲示板等でお知らせします。
- ・本学と海外の大学との協定により実施された交換留学で修得した単位は申請により本学の単位として認定される場合があります。全学教育科目として単位認定を申請する場合は、単位修得した大学の成績証明書、シラバス、ノート・テキスト等が必要になります。

② 放送大学で修得した単位

本学と放送大学との単位互換協定に基づき放送大学の特別聴講学生として本学が指定する科目を履修して単位を修得した場合に限り、履修登録方法などについては、公用掲示板等でお知らせします。

③ 外国語検定試験

- ・外国語検定試験の結果に基づいて、言語文化研究院の教員による書類審査等を実施し単位を認定します。
- ・対象となる外国語検定試験は、英語についてはTOEFL、TOEIC、英語以外の初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・韓国語・スペイン語）については外国語ごとに認定する外国語検定試験が定められています。
- ・認定の時期は年2回です。認定基準、具体的な手続き方法等の詳細については、『全学教育科目履修の手引き』及び公用掲示板の掲示を参照してください。

10 授業の改善について

基幹教育院では、学生の皆さんの学習効果を上げるため、さまざまな授業の改善を進めています。今後の授業改善の参考とするために「学生による授業アンケート」を学期毎に実施しています。全学教育をよりよいものにしていくため、皆さんの積極的で建設的な意見を記入願います。

また、全学教育の改善に関する意見がありましたら、「意見箱」を学務部事務室内電子掲示板前（センター1号館2階）に設けていますので、ぜひ投函してください。

11 在学期間及び休学期間

- (1) 学部学生の在学期間は8年間（医学部医学科・歯学部・薬学部臨床薬学科学生は12年間）を限度とします。
- (2) 疾病又は経済的理由のため2カ月以上修学できない場合は、所属学部長の許可を得て、その学年の終わりまで休学することができます。
なお、休学期間中に、その事由が消滅したときは、所属学部長の許可を得て、復学することができます。
- (3) 休学した期間は、在学期間には算入されません。ただし、休学期間は、学部学生にあつては4年を、医学部医学科・歯学部・薬学部臨床薬学科学生にあつては6年を限度とします。

12 転学部（学科）等

学部・学科等の変更は、その機会の拡大をはかっていますが、各学部・学科等に定員の余裕がないため若干名の学生しか受け入れられない事情があります。

なお、転学部（学科）の取扱いについては、全学的に次のような基準があるので留意してください。

- (1) 転学部を希望する学生は、出願に当たって事前にクラス指導教員及び必要に応じて学生相談教員の指導を受けるものとします。
- (2) 転学部にあつては、各学部が定めた方法によって審査を行います。審査の方法は、入試成績や学内成績、必要に応じて筆記試験や面接等、学部ごとに異なります。
- (3) 転学部の出願は、1学部に限り認めます。
- (4) 再度、転学部をすることは認めません。

なお、各学部の次年度に向けた出願要領は10月初旬に公用掲示板の掲示によって発表します。

13 教育職員免許状の取得に関する全学教育科目の履修について

中学校及び高等学校教諭免許状を取得するために、教育職員免許法に従って所定の単位を修得しなければなりません。このうち、全学教育科目の中から修得しなければならない科目、単位数及び履修時期等は、下表のとおりです。

全学教育科目で修得が必要な科目	単位数	履修時期
(1) 文系コア科目「日本国憲法」	2単位	1, 2年次
(2) 健康・スポーツ科学演習	2単位	1年前期
(3) 言語文化基礎科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, 韓国語, スペイン語の中から2単位選択必修	2単位	1, 2年次
(4) 情報処理科目の「情報処理演習Ⅰ～Ⅴ」から1科目	1単位	1年次

全学教育科目以外の必要な科目（教職に関する科目、教科に関する科目、教職又は教科に関する科目など）については、各学部の学生便覧等を参照してください。

Ⅲ. 全学教育の目的と目標

1 九州大学の全学教育の目的と目標

全学教育の目的と構成

(目的)

1. 九州大学は、「九州大学教育憲章」に示す「人間性の原則」、「社会性の原則」、「国際性の原則」及び「専門性の原則」にたち、「日本の様々な分野において指導的な役割を果たし、アジアをはじめ広く全世界で活躍する人材を輩出し、日本及び世界の発展に貢献する」ことを目指している。全学教育は、各学部の専攻教育と互いに補い合いつつ、この目的を達成する上で基盤となる人間的素養を育み、また各学部の専門分野を学ぶ上で共通する基礎的な能力を培うことを目的とする。

(構成)

2. 全学教育科目の構成は次のとおりとする。
教養教育科目（共通コア科目、コアセミナー、文系コア科目、理系コア科目、少人数セミナー、総合科目、高年次教養科目、言語文化科目、健康・スポーツ科学科目）、文系基礎科目、理系基礎科目、情報処理科目
3. 全学教育科目は、低年次（1～2年次）での履修を主とするが、高年次（3年次以降）においても履修できるものとする。
4. 総合選択履修方式による履修
上述の全学教育科目に加えて、学生は全在学期間を通じて、他学部・学科の専攻教育科目を、自己の判断により選択して履修すること（総合選択履修方式による履修）を可能とする。これにより、学生がより幅広く深い教養を培うことができる教育を実現するものとする。

全学教育の目標

(一般的目標)

1. 高校教育との接続を円滑にし、大学教育への適応を促進する。
2. 社会の変化と学問の進展に対応しうる感性と能力を育成する。
3. 学問への理解を深めるとともに、関心の幅を広げ、大学における学習の意欲を高め、自ら学び取る能力を養う。
4. 大学院においてあるいは社会において継続的に学習を進める上で、基礎となる能力を培う。
5. 国際社会の一員としての自覚の醸成とその基礎となる能力を養う。

(授業科目ごとの目標：教養教育科目)

6. 教養教育科目は、良識を備えた人格の陶冶を主眼に、指導的立場に立つべき市民としての素養を育成することを目標とする。具体的には、自ら問題を発見し、あるいは提起される問題に対して的確かつ総合的な判断を行うことができる能力、そしてその判断を支える関心と知識の幅の広さ、社会と学問の変化に対応できる能力及び自立して不断に学ぶ能力を育成することを目標とする。
7. 共通コア科目は、文化や社会、自然の中にある人間存在の成り立ちを基本から考察し、人間の尊厳や自由の価値についての理解を深め、現下の社会的・国際的課題への関心を養い、学問の有する可能性や社会的意味について考えることを通じて、爾後の市民的生活のために必要となる基盤を形成させることを目標とする。
8. コアセミナーは、高校とは異なる大学における学習への適応を促進し学習意欲を向上させること、及び「読む、書く、調べる、発表する、討論する」等の学問を進めていく上での基礎的な能力を育成することを目標とする。
9. 文系コア科目、理系コア科目、総合科目は、各分野の知識や見解がいかなる問題意識から形成され、その形成にどのような方法やものの見方が働いているかという学問のコアを理解させるとともにテーマの探究を通して学問の面白さを理解させることを目標とする。
10. 少人数セミナーは、大学における学習への適応を促進し、学習意欲を向上させ、人間的な交流の場をつくることによって優れた人格形成に資することを目標とする。
11. 高年次教養科目は、さまざまな分野の専門研究者の教育能力を総合的に生かすことによって、質の高い教養教育を実施し、それによって優れた人材を育成することを目標とする。

Ⅲ. 全学教育の目的と目標

- 1 2. 言語文化科目は、国際社会を積極的に生きるために必要な、また、専門分野を学習するために必要な外国語運用能力を涵養・向上させ、グローバルな異文化理解と豊かな国際的感覚、国際的教養を育むことを目標とする。
- 1 3. 健康・スポーツ科学科目は、精神的及び肉体的に健やかな人間性を有する人材の育成を目標とする。具体的には、生涯を通じた健康・体力をつくりだすための健康科学に関する知識の修得及びその実践能力の獲得、並びに身体を介したコミュニケーション能力の向上を目標とする。

（授業科目ごとの目標：文系基礎科目）

- 1 4. 文系基礎科目は、現代社会の歴史的認識と人文社会科学の諸科目の教授を通して、文系の学問を学ぶための基礎的な知識や方法を修得させることを目標とする。

（授業科目ごとの目標：理系基礎科目）

- 1 5. 理系基礎科目は、諸科学を通して理系の共通基盤となる自然科学の基礎的な知識や方法を修得させることを目標とする。

（授業科目ごとの目標：情報処理科目）

- 1 6. 情報処理科目は、情報社会を積極的に生きるために必要な、また、専門分野を学ぶために必要な情報処理の基礎的な技術を修得させ、情報活用能力を育成することを目標とする。

（総合選択履修方式の目標）

- 1 7. 学問研究の急速な発展やその社会利用の多様な展開に対応して、学習において学生の個性ある多面的な能力を柔軟に発揮させるために「総合選択履修方式」による履修の単位枠を設ける。これにより、学生は、低年次から高年次にわたって、すべての全学教育科目と他学部・学科で開講される専攻教育科目の中から、希望する科目を選択して履修することが可能となり、修得した単位は、卒業単位として認定される。このため、この制度の実効が上がるよう履修指導に努める。

（教育の実施方法・手段にかかる目標）

- 1 8. 学生の学習意欲をより向上させ、また学習における自発性・創造性の発揮を助けるために、教育の場での双方向性の実現に努める。
- 1 9. 学生の学習課程の多様性に応じた修学指導を充実させる。
- 2 0. 学生の個性を尊重した教育を充実させる。
- 2 1. 効果ある教育を目指して、教育の改善並びに教育能力の向上に不断に努める。
- 2 2. 総合大学としての教育機能をもっとも効果的に生かすことができるよう、全学的に協力し一体となって全学教育を実施する。
- 2 3. 全学教育科目と総合選択履修方式による履修科目を合わせて教育を行うことで、教育目的の達成を図る。
- 2 4. 低年次において履修する学部専攻教育科目及び高年次において履修する全学教育科目を設けることにより、4（6）年間を通して学部専攻教育との連携を図る。

2 授業科目の構成

授 業 科 目 区 分		主な実施地区		
全学教育科目	教養教育科目	共通コア科目	伊都	
		コアセミナー	所属学部	
		文系コア科目	伊都	
		理系コア科目	伊都	
		少人数セミナー	伊都	
		総合科目	伊都など	
		高年次教養科目	課題科目	箱崎・病院・大橋・伊都
			主題科目	伊都
			社会連携科目	学外など
		言語文化科目	言語文化基礎科目	伊都
	言語文化自由選択科目		箱崎・伊都	
	言語文化古典語科目		伊都	
	健康・スポーツ科学科目	伊都		
	文系基礎科目	伊都		
理系基礎科目	共通基礎科目	伊都		
	個別基礎科目	伊都		
情報処理科目	伊都			
専攻教育科目	低年次専攻教育科目	所属学部		
	高年次専攻教育科目	所属学部		

3 全学教育科目の各科目区分の目的・目標の解説

全学教育では「九州大学教育憲章」に基づき「九州大学の全学教育の目的と目標」（14, 15 ページ）を定めて教育を実施しています。ここでは各科目区分の目的・目標、共通的な履修における注意事項について解説します。

なお、科目区分ごとの必要単位数及び修得科目は学部・学科により異なりますので、「各学部・学科の履修細目」（22 ページ以降）を参照してください。

〔1 教養教育科目〕

「九州大学教育憲章」の最初で述べているように、九州大学の学生は将来、社会のさまざまな分野で指導的な役割を果たすことが期待されます。そのためには、市民としての素養と各専門についての深い学識を備えるとともに、提起される問題に対して的確で総合的な判断を自らの力で行うことができる能力、それを支える関心の幅の広さ、学問・社会の変化に対応できる能力、さらには高い教養に根ざした人間性が必要です。そのために、一般的な教養を高めるとともに、現代社会が提起しつつある諸問題に主体的に取り組み得る能力やそのために自ら不断に学ぶ能力を培うことを目的として、低年次から高年次にわたって教養教育科目が設けられています。

Ⅲ. 全学教育の目的と目標

(1) 共通コア科目

九州大学における教養教育の柱となるものです。総合大学である本学が教育憲章において掲げる「人間性の原則」、「社会性の原則」並びに「国際性の原則」を実現するための基礎を築くことを目的とします。即ち、文化や社会、自然の中にある人間存在の成り立ちを基本から考察し、人間の尊厳や自由の価値についての理解を深め、現下の社会的・国際的課題への関心を養い、学問の有する可能性や社会的意味について考えることを通じて、爾後の市民的生活のために必要となる基盤を形成することを目標とします。

授業の進め方が通常の授業科目とは異なりますので、「全学教育科目履修の手引き」の共通コア科目のページを参照してください。

(2) コアセミナー

高校とは異なる大学における学習への適応を促進し学習意欲を向上させること、及び「読む、書く、調べる、発表する、討論する」等の学問を進めていく上での基礎的な能力を育成することを目的とします。そのため、担当教員の得意な素材を用いて、文献の調べ方、日本語によるビジネスレターやレポート・論文の書き方を実践させ、大学で学んでいくための基礎的な技能を育成することを目標とします。

(3) 文系コア科目、理系コア科目、総合科目

学問全体の中や社会との関わりの中で、高校を卒業したばかりの学生に対し、専攻する学問の位置づけとそれを学ぶ学生自身の位置を理解すること、また学問、人間、社会、自然への関心の幅を広げさせることを目的とします。そのため、各分野の知識や見解がいかなる問題意識から形成され、その形成にどのような方法やものの見方が働いているかという学問のコアを理解させるとともにテーマの探究を通して学問の面白さを理解することを目標とします。

(4) 少人数セミナー

少人数セミナーは、多人数教育の欠点を補って、学部学科を越えた学生相互の、また、学生と教員との交流を重視しながら学習を進める科目です。なかでも、高校とは異なる大学における学習への適応を促進し学習意欲を向上させること、及び、優れた人格形成に資する人間的交流の場をつくることを目標とします。学習のテーマはそれぞれクラスごとに定められますが、通常の科目を補ってその理解に直接結びつく学力の育成を目的とするものではありません。

《文系コア科目、理系コア科目、総合科目、少人数セミナーの履修について》

- ① 理系学部の学生は理系コア科目のうち、「数学Ⅰ」、「物理学Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「地球科学Ⅰ」を履修できません。経済学部の学生は「数学Ⅰ」を履修できません。
- ② 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができます。
- ③ 外国人留学生は、総合科目「日本事情」を2科目4単位まで修得できます。そのうち2単位分は、文系コア科目、理系コア科目のうち不足する区分にあてる2単位とは別に、修得すべき文系コア科目に替えることができます。

(5) 高年次教養科目

(イ) 課題科目

グローバル化が進む現代社会において直面する様々な課題にどのようなものがあり、それらを解決するためにどのような実践的取組が行われているかについての総合的な理解を修得することを目標とします。

(ロ) 主題科目

現代社会における人文科学・社会科学・自然科学分野の抱える諸問題について、テーマ毎に総合的な理解を修得することを目標とします。

(ハ) 社会連携科目

社会における市民としての社会連携活動の意義を理解し、社会への関心を高め自己の社会的位置付けを認識することにより、大学における修学活動の重要性を再認識するとともに、学問と社会の関わりについての知見を深め、学生であることの目的意識を確立させることを目標とします。

(6) 言語文化科目

本学の教育憲章の「国際性の原則」の実現、とりわけ、秀でた国際性を有する人材を育成することを目的とします。

(イ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目の英語科目においては、段階別・技能別のステップアップ授業並びに能力別クラス編成を採用し学生の基礎力の養成に重点を置くことを目標とします。また、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語）に関しては、最低限の基礎の修得と高度な学習への動機付けを目標とします。併せて言語文化科目の履修を通じて、異文化の理解と自己の思考の相対化を学ぶ契機とすることを目標とします。

《履修について》**① 第1外国語と第2外国語**

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語の7カ国語のうちから2カ国語を第1外国語及び第2外国語として定めて履修します。

② 第1,第2外国語の選択及び登録

入学手続き時に第1,第2外国語の選択を行いますが、その登録は、第1学期の授業開始後の第2週目（1年前期の履修登録期間）に学生用Webシステムで行ってください。

登録内容の変更は申請により第3学期（2年前期）の開講日までに行うことができます。申請期間は掲示で案内します。

なお、外国語選択の参考として99ページに「付録 九州大学大学院入学試験の外国語試験科目について」（平成24年1月現在）を掲載しています。

③ 学部別の第1,第2外国語の選択及び卒業に必要な単位数**（文学部, 教育学部, 法学部, 経済学部, 21世紀プログラム）**

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語及びスペイン語の7カ国語のうちから2カ国語を必修として選び、第1外国語として7単位、第2外国語として5単位の合計12単位を修得しなければなりません。

（理学部, 工学部, 芸術工学部, 農学部）

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語及びスペイン語の7カ国語のうちから2カ国語を必修として選び、第1外国語として6単位、第2外国語として4単位の合計10単位を修得しなければなりません。

（医学部, 歯学部, 薬学部）

第1外国語として英語を、第2外国語としてドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語の6カ国語のうちから1カ国語を必修として選び、第1外国語として6単位、第2外国語として4単位の合計10単位を修得しなければなりません。

（外国人留学生）

第1,第2外国語のいずれの選択においても上記7カ国語と日本語の中から選択してください。ただし、**医学部, 歯学部, 薬学部**の外国人留学生は、第1外国語として英語を、第2外国語としてドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語、日本語のうちから1カ国語を選択してください。

Ⅲ. 全学教育の目的と目標

④ 英語は、必ず下表に基づいて各学期履修してください。

学部	区分	修得単位数	各学期修得単位数				
			第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第5学期以降
文学部 教育学部 法学部 経済学部 21世紀プログラム※1	第1外国語を英語とした場合	7単位	2	2	2	1(※2)	
	第2外国語を英語とした場合	5単位	2	2	1		
理学部 工学部 芸術工学部 農学部	第1外国語を英語とした場合	6単位	2	2	1	1(※2) (※3)	(※3)
	第2外国語を英語とした場合	4単位	2	2			
医学部 歯学部 薬学部	第1外国語は英語に指定	6単位	2	2	1	1(※2) (※3)	

(※1) 21世紀プログラムの学生が履修する英語については、「21世紀プログラム学生の手引き」を参照してください。

(※2) 2年後期に次のように各学部・学科の学生を対象に「英語Ⅳ」が開講されます。

箱崎地区で、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部（数学科を除く）、工学部建築学科、農学部を対象。病院地区で、歯学部、薬学部を対象。

伊都地区で、理学部数学科、工学部（建築学科・機械航空工学科を除く）を対象。

(※3) 次の学部・学科は、各専攻教育実施地区（病院、伊都、大橋地区）で学部学科独自の英語科目が開講されます。

医学部医学科・生命科学科は2年後期。

医学部保健学科は2年次。

工学部機械航空工学科は2年後期以降（航空宇宙工学コースと機械工学コースで実施学期が異なります。）

芸術工学部環境設計学科・工業設計学科は3年次。

芸術工学部画像設計学科・音響設計学科・芸術情報設計学科は2年後期以降。

⑤ 初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語）と日本語の履修方法については、必ず『全学教育科目履修の手引き』の言語文化基礎科目の各言語のページを参照してください。

(ロ) 言語文化自由選択科目

原則として高年次学生を対象とする言語文化自由選択科目は、以下の3つが目標として挙げられています。

- ①言語文化基礎科目で学んだ英語及び初修外国語を発展的に自主学習できるよう支援すること、
- ②言語文化基礎科目で履修しなかった初修外国語について、基本的な文法項目を修得させること、
- ③言語文化基礎科目では開講していないインドネシア語、イタリア語等の外国語の最低限の基礎を修得すること。

《履修について》

総合選択履修方式の対象科目として高年次学生を中心に、箱崎地区にある言語文化研究院箱崎分室及び伊都地区において選択履修することができます。第1・第2外国語で学習した外国語の学習を深めたり、その他の外国語に触れてみたりすることが可能です。履修する際は、学生用Webシステムによる履修登録に先立って、言語文化研究院箱崎分室において、受講登録をする必要があります。

(ハ) 言語文化古典語科目

現代の諸科学の礎となった西欧世界の「知」を識るために、古典ギリシア語とラテン語を基礎から学びます。

(7) 健康・スポーツ科学科目

本学の教育憲章の「人間性の原則」の実現、とりわけ精神的及び肉体的に健やかな人間性を有する人材の育成を目標とします。そのため、スポーツや身体運動が健康に及ぼす効果を身体的、心理的、社会的な観点から理解させ、学生が健康で充実した学生生活を送ることのできる能力の育成を目標とします。

生涯を通じた健康・体力を作り出すための運動やスポーツに関する知識の修得及びその実践能力の獲得を目標とします。

〔2 文系基礎科目〕

現代社会の歴史的認識と人文社会科学の諸科目の教授を通して、文系の学問を学ぶための基礎的な知識や方法を修得することを目的とします。

〔3 理系基礎科目〕

諸科学を通して理系の共通基盤となる自然科学の基礎的な知識や方法を修得することを目的とします。

(1) 共通基礎科目

多くの理系学部・学科で共通的に必要となる科目群であり、学部・学科の特徴や学生の高校での学習歴に応じた内容として提供します。

(2) 個別基礎科目

学部・学科において、低年次に個別的に必要となる自然科学関連の基礎科目です。

《履修について》

自らが所属する学部・学科毎に定められた必修科目、並びに学部・学科毎の推奨科目を含めた総合選択履修方式の対象科目として理系基礎科目を履修します。

理系基礎科目の科目名、必修・選択の条件は、各学部・学科毎に指定されていますので、「各学部・学科の履修細目」(22 ページ以降)をよく読んで履修してください。(21 ページ「理系基礎科目及び情報処理科目の履修一覧」を参照)

なお、情報処理科目の時間割枠は、所属クラスごとに指定されていますので、その枠で履修してください。

再履修にあたっては、人数等に余裕があれば他クラスで履修することができます。

〔4 情報処理科目〕

様々な社会活動の基盤となる情報処理技術の基礎を身につけさせることを目的とします。そのため、情報処理の基礎となる計算機プログラミングやデータ処理技術の基礎、また、社会生活において極めて重要な情報倫理について理解させることを目標とします。更に、必要に応じてコンピュータサイエンスやコンピュータグラフィックスの基礎について理解します。

《履修について》

自らが所属する学部・学科毎に定められた必修科目、並びに学部・学科毎の推奨科目を含めた総合選択履修方式の対象科目として情報処理科目を履修します。

情報処理科目の科目名、必修・選択の条件は、各学部・学科毎に指定されていますので、「各学部・学科の履修細目」(22 ページ以降)をよく読んで履修してください。(21 ページ「理系基礎科目及び情報処理科目の履修一覧」を参照)

なお、情報処理科目の時間割枠は、所属クラスごとに指定されていますので、その枠で履修してください。

再履修にあたっては、人数等に余裕があれば他クラスで履修することができます。

4 総合選択履修方式について

《総合選択履修方式とは》

総合選択履修方式は、様々な分野の授業が開講されている総合大学の特性を活かし、学問研究の急速な発展やその社会利用の多様な展開に対応して学生の個性ある多面的な能力を柔軟に発揮させることを目標として設けている履修制度です。

総合選択履修方式により修得すべき単位数は各学部・学科で異なりますので、「各学部・学科の履修細目」(22 ページ以降)で確認してください。

《総合選択履修方式の履修方法》

- (1) すべての全学教育科目(所属学部や外国語の選択によって履修できない科目があります。)と他の学部・学科の専攻教育科目(所属する学部・学科においては一部の場合があります。)の中から選択して履修してください。
- (2) 全学教育科目においては、総合選択履修方式により「各学部・学科の履修細目」に記載の「科目区分毎の単位数」より多くの授業を履修することができます。
- (3) 他学部・学科の専攻教育科目で総合選択履修方式として履修を推奨する科目は、各学部または全学教育教務係窓口で確認してください。
- (4) 学部・学科ごとに総合選択履修方式により履修することが望ましい理系基礎科目及び情報処理科目の推奨科目が指定されていますので、21 ページの「理系基礎科目及び情報処理科目の履修一覧」及び 22 ページ以降の「各学部・学科の履修細目」を参照してください。
- (5) 高年次履修対象の全学教育科目等により、3 年次以降で 2 単位以上修得することが望まれます。(医学部保健学科を除く。)

IV. 各学部・学科の履修細目 —全学教育科目を主として—

履修及び単位修得が要求されている全学教育科目等と単位及び進級に関する事項を、下記の学部（学科）ごとに示します。

学部・学科別履修細目 目次

学部・学科など	ページ
・ 履修細目の見方	2 3
・ 文学部	2 5
・ 教育学部	2 7
・ 法学部	2 9
・ 経済学部	
経済・経営学科	3 1
経済工学科	3 3
・ 理学部	
物理学科	3 5
化学科	3 7
地球惑星科学科	3 9
数学科	4 1
生物学科	4 3
・ 医学部	
医学科	4 5
生命科学科	4 7
保健学科	
看護学専攻	4 9
放射線技術科学専攻	5 1
検査技術科学専攻	5 3
・ 歯学部	5 5
・ 薬学部	
創薬科学科	5 7
臨床薬学科	5 9
・ 工学部	
建築学科	6 1
電気情報工学科	6 3
物質科学工学科	6 5
地球環境工学科	6 7
エネルギー科学科	6 9
機械航空工学科	7 1
・ 芸術工学部	
環境設計学科	7 3
工業設計学科	7 5
画像設計学科	7 7
音響設計学科	7 9
芸術情報設計学科	8 1
・ 農学部	8 3
・ 21世紀プログラム	8 5

《履修細目の見方》

「各学部・学科の履修細目」を見るための参考として掲載していますが、修得すべき科目や単位数は各学部・学科で異なりますので、所属学部・学科の「履修細目」を必ず確認してください。

なお、所属学部・学科の「履修細目」は、左ページにある文章を読んだ上で、右ページにある表を見るようにしてください。

〇〇学部：〇〇学科 文系学部＝文・教育・法・経済学部、理系学部＝理・医・歯・薬・工・芸術工・農学部、21CP＝21世紀プログラム
【卒業要件：〇単位】…全学教育科目、専攻教育科目及び総合選択履修方式の最低修得単位数を合計した単位数で、卒業に必要な最低修得単位数をあらわします。この単位数を超えて履修することも可能です。

1. 全学教育科目

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

- ・共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」は全学部において必修科目です。
- ・右の表では、文系コア科目（表中の【A】の科目）から3科目6単位を修得することを意味します。
- ・右の表では、理系コア科目（表中の【B】の科目）から3科目6単位を修得することを意味します。
- ・なお、理系学部は2科目4単位を修得してください。
- ・経済学部の学生は理系コア科目のうち、「数学Ⅰ」を履修できません。
- ・理系学部の学生は理系コア科目のうち、「数学Ⅰ」、「物理学Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「地球科学Ⅰ」を履修できません。
- ・少人数セミナーまたは総合科目で修得した単位は2単位に限り文系コア科目か理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができます。
- ・少人数セミナーの単位を修得できるのは在学中1科目2単位です。少人数セミナーの単位を修得した場合は、次学期以降は履修できなくなります。
- ・総合科目は科目名が異なれば2科目以上履修できます。
- ・外国人留学生は、総合科目「日本事情」を2科目4単位まで修得できます。そのうち2単位分は、文系コア科目または理系コア科目のうち不足する区分にあてて2単位とは別に、修得すべき文系コア科目に替えることができます。

(ロ) 言語文化基礎科目

右の表では【C】にある7カ国語のうちから2カ国語を第1・第2外国語として選択して履修することを意味します。

学部・学科等により、英語が第1外国語に指定されていたり、履修すべき科目が異なったりすることがありますので、履修方法は所属学部・学科の履修細目と合わせて、18・19ページ（(6)の「(イ) 言語文化基礎科目」）を参照してください。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

「健康・スポーツ科学演習」は全学部において必修科目です。

(2) 文系基礎科目

文系学部の学生は、「現代社会／現代史」は必修科目です。また、右の表では「現代社会／現代史」に加えて、【D】の科目から1科目2単位を修得することを意味します。

なお、所属学部により以下の文系基礎科目は履修できません。

文学部：「人文学入門」、教育学部：「教育学入門」、法学部：「政治の世界」及び「法の世界」、経済学部：「経済学入門」

(3) 理系基礎科目

- ・共通基礎科目及び個別基礎科目の最低修得単位数、必修科目及び推奨科目は各学部・学科で異なりますので、必ず「各学部・学科の履修細目」の「理系基礎科目」の項で確認してください。
- ・「推奨科目」とは、所属学部・学科が修得することを推奨する科目です。ただし、「推奨科目の中から〇単位修得すること」と記載されている場合は、推奨科目として指定された科目から所要単位数以上を修得する必要があります。
- ・右の表では、理系基礎科目について、1) 共通基礎科目のうち必修科目が6科目11単位あること、2) 必修科目以外の共通基礎科目から「細胞生物学」が履修することが望ましい推奨科目であること、3) 個別基礎科目から2単位以上を修得する必要があり、推奨科目である【E】の科目から修得することが望まれることを示しています。

(4) 情報処理科目

「各学部・学科の履修細目」の「情報処理科目」の項で確認し、その指示どおりに履修してください。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目の履修については「各学部・学科の履修細目」の「専攻教育科目」の項や所属学部の学生便覧等を参照してください。

3. 総合選択履修方式

- ・総合選択履修方式により修得する単位数などは学部・学科で異なりますので、「各学部・学科の履修細目」の「総合選択履修方式」の項で確認してください。
- ・全学部共通して、次の①～⑧については総合選択履修方式により履修することができます。
 - ① 「科目区分毎の単位数」欄に記載の最低修得単位数より多く全学教育科目を履修する場合。
また、表中の(e)のように推奨科目として科目指定があるものの最低修得単位数の記載がない場合の修得単位は総合選択履修方式の単位となります。
 - ② 高年次教養科目（3年次以上対象）（表中の(a)）。
 - ③ 言語文化自由選択科目（表中の(b)）。伊都・箱崎地区で開講。
 - ④ 言語文化古典語科目（ラテン語Ⅰ・Ⅱ、古典ギリシア語Ⅰ・Ⅱ）（表中の(c)）。
 - ⑤ 健康・スポーツ科学科目の「身体運動科学実習Ⅰ～Ⅳ」、「健康・スポーツ科学講義Ⅰ・Ⅱ」（表中の(d)）。「身体運動科学実習Ⅲ・Ⅳ」は3年次以上対象で、伊都と箱崎地区で開講。
 - ⑥ 理系学部の学生が文系基礎科目を履修する場合。
 - ⑦ 文系学部の学生が理系基礎科目を履修（経済学部については指定外の理系基礎科目を履修）する場合。
 - ⑧ 他学部・他学科の専攻教育科目（所属学部・学科においては一部の場合あり）（表中の(f)）。
- ・全学教育科目では総合選択履修方式においても次の①・②の場合は履修することができません。
 - ① 1年生が2年次以上対象の科目を、2年生が3年次以上対象の科目を履修すること。
 - ② 90～94ページの「全学教育科目の開講学期」の「履修上の注意」に従わずに履修すること。

履修細目一覧（参考例）

〔A〕～〔D〕については左ページの各科目区分の項目を、(a)～(f)については左ページの総合選択履修方式の項目をまず読んでください。

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 ヤリカス				
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計					
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	○単位	伊 都				
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位						
	文系コア科目	〔A〕 哲学(2) 文化人類学(2) 思想史(2) 人文地理学(2) 科学史(2) 教育学(2) 古典の世界(2) 心理学(2) 文学(2) 政治学(2) 芸術(2) 法学(2) 先史学(2) 日本国憲法(2) 歴史の認識(2) 社会学(2) 歴史と社会(2) 経済学(2)	6単位						
			〔B〕 生物科学Ⅰ(2) 地球科学Ⅰ(2) 生物科学Ⅱ(2) 地球科学Ⅱ(2) 生物科学Ⅲ(2) 地球科学Ⅲ(2) 数学Ⅰ(2) 図形科学Ⅰ(2) 数学Ⅱ(2) 図形科学Ⅱ(2) 数学Ⅲ(2) 図形科学Ⅲ(2) 物理学Ⅰ(2) 情報科学Ⅰ(2) 物理学Ⅱ(2) 情報科学Ⅱ(2) 物理学Ⅲ(2) 情報科学Ⅲ(2) 化学Ⅰ(2) 健康科学Ⅰ(2) 化学Ⅱ(2) 健康科学Ⅱ(2) 化学Ⅲ(2) 健康科学Ⅲ(2)			12単位			
						6単位			
						少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)	
						総合科目			
						高年次教養科目	高年次教養科目は3年次以上が対象 (a)		
						言語文化基礎科目	〔C〕 英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1) ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1) フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1) 中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語L.L(1), 中国語会話(1) ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1) 韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1) スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1) 【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)	2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位	
								言語文化自由選択科目 (b)	
								言語文化古典語科目 (c)	
								健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)
	文系基礎科目	現代社会/現代史(2) 〔D〕 人文学入門(2), 教育学入門(2), 政治の世界(2) 法の世界(2), 経済学入門(2)						2単位	
	理系基礎科目	共通基礎科目	〔E〕 【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 自然科学総合実験(2) 次の科目を修得することが望ましい。 【推奨科目】 細胞生物学(2) (e)					11単位	
個別基礎科目		熱と波動論基礎(2) 基礎化学結合論(2) 基礎化学熱力学(2) 分子生物学(2)	2単位						
情報処理科目	次の科目を修得することが望ましい。 【推奨科目】 情報処理演習Ⅰ(1)								
他専攻の専攻教育科目	(f)								
専攻教育科目	低年次(第1学期)	入門 〇〇概論 科目 〇〇入門							
	(第2学期)	〇〇基礎Ⅰ, 〇〇A,	〇単位						
	(第3学期)	〇〇基礎Ⅱ, 〇〇B,							
	第4学期以降	〇〇学部履修要項を参照すること							

少人数セミナーまたは総合科目で修得した単位は2単位に限り文系コア科目か理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができることを意味します。

文学部

【卒業要件：128単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(4)に従い、37単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、12単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー及び総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語7単位以上、第2外国語5単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 文系基礎科目

文系基礎科目では、「現代社会／現代史」を修得し、選択必修科目の中から2単位以上を修得する。

(3) 理系基礎科目

文学部では特に履修を課していないが、履修した場合は総合選択履修方式による修得単位とすることができる。

(4) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目（人文学科基礎科目）を含めて80単位（卒業論文10単位を含む。）以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

文学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により11単位以上を修得する。

なお、上記11単位のうち、2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

ただし、文学部において開講する専攻教育科目のうち、総合選択履修として認められるのは6単位までである。

4. 進級について

① 1年次終了時に専門分野を決定するが、専門分野の決定に際しては、それまでに下記の科目について、合計35単位以上を修得する。

共通コア科目4単位、コアセミナー2単位、文系コア科目と理系コア科目の中から8単位、言語文化基礎科目8単位、健康・スポーツ科学科目2単位、文系基礎科目4単位、情報処理科目1単位、総合選択履修方式2単位及び低年次専攻教育科目（人文学科基礎科目）4単位の35単位以上を修得する。

② ①の条件を満たさなかった場合は、これを満たした学年の終了時において、所属専門分野が決定される。

③ ①の条件について、言語文化基礎科目の1単位不足に限り認めるが、専門分野決定の際に不利になる。

④ 専門分野決定後でなければ、2年次以降に開講される専攻教育科目は、講義及び臨時講義を除いて、履修することができない。

履修細目一覧（ 文学部 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数		受 講 キャンパス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式			
全 学 教 育 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	伊 都 箱 崎	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位		
	文 系 コア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		12単位
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※5			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
		歴史と社会(2)	経済学(2)			
		理 系 コア 科 目	生物科学Ⅰ(2)			
	生物科学Ⅱ(2)		地球科学Ⅱ(2)			
	生物科学Ⅲ(2)		地球科学Ⅲ(2)			
	数学Ⅰ(2)		図形科学Ⅰ(2)			
	数学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)			
	数学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)			
	物理学Ⅰ(2)		情報科学Ⅰ(2)			
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅱ(2)			
	物理学Ⅲ(2)		情報科学Ⅲ(2)			
	化学Ⅰ(2)		健康科学Ⅰ(2)			
	化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)				
	化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)				
	少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)		
	総合科目			※1		
	高 年 次 教 養 科 目	課題科目				
主題科目						
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)		2カ国語必修 第1外国語 7単位 第2外国語 5単位 ※2	11単位 ※3 128単位	
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)				
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)				
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)				
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)				
		言語文化自由選択科目				
		言語文化古典語科目				
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)		2単位		伊 都	
文 系 基 礎 科 目	現代社会/現代史(2)		2単位		伊 都	
	教育学入門(2)	政治の世界(2)	2単位			
	法の世界(2)	経済学入門(2)				
理系基礎科目	共通基礎科目	個別基礎科目				
情報処理科目	【必修科目】 情報処理演習Ⅰ(1)		1単位			
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊	
	低年次	入門科目				
	(第1学期)	文学部学生便覧を参照すること。	80単位 (卒論10単位 を含む。)	※4	箱 崎	
	(第2学期)					
(第3学期)						
第4学期以降	文学部学生便覧を参照すること。					

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 総合選択履修方式には、在籍学部において開講する専攻教育科目のうち6単位までを含めることができる。
 ※5 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

教育学部

【卒業要件：128単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、36単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、12単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語7単位以上、第2外国語5単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）文系基礎科目

文系基礎科目では、「現代社会／現代史」を修得し、選択必修科目の中から2単位以上を修得する。

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

教育学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により12単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

進級するためには、2年次前期終了までに全学教育科目の中から36単位以上、及び低年次専攻教育科目のすべての科目を修得しなければならない。

ただし、転学部生はこの限りではない。

履修細目一覧（ 教育学部 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数		受 講 キャンパス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式			
全 学 教 育 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	128単位 伊 都 箱 崎	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位		
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		12単位
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※5			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
		歴史と社会(2)	経済学(2)			
	理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)	地球科学Ⅰ(2)	6単位		12単位
		生物科学Ⅱ(2)	地球科学Ⅱ(2)			
		生物科学Ⅲ(2)	地球科学Ⅲ(2)			
		数学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)			
		数学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)			
		数学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)			
		物理学Ⅰ(2)	情報科学Ⅰ(2)			
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅱ(2)			
		物理学Ⅲ(2)	情報科学Ⅲ(2)			
化学Ⅰ(2)		健康科学Ⅰ(2)				
化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)					
化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)					
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)				
総合科目		※1				
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目				箱・病・大・伊	
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	2カ国語必修 第1外国語 7単位 第2外国語 5単位 ※2	12単位 ※3	伊 都 箱 崎	
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)				
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)				
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)				
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)				
		言語文化自由選択科目				
		言語文化古典語科目				
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位		伊 都		
文系基礎科目	現代社会/現代史(2)		2単位		伊 都	
	人文学入門(2)	政治の世界(2)	2単位			
	法の世界(2)	経済学入門(2)				
理系基礎科目	共通基礎科目 個別基礎科目					
情 報 処 理 科 目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)				伊 都	
	情報処理演習Ⅰ(1) ※5					
専攻教育科目	他学部の専攻教育科目				箱・病・大・伊	
	低年次 (第1学期)	入門 科目		80単位 ※4	箱 崎	
	(第2学期)	教育学概説(2), 教育心理学概説(2)				
	(第3学期)	教育学部学生便覧を参照すること。				
第4学期以降	教育学部学生便覧を参照すること。					

- ※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
- ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ((6)の「(イ)言語文化基礎科目」)を参照のこと。
- ※3 総合選択履修方式の12単位には、科目区分毎の最低修得単位数分として修得した科目を除いて履修すること。
総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
- ※4 総合選択履修方式には、在籍学部において開講する専攻教育科目のうち6単位までを含めることができる。
- ※5 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」,「情報処理演習Ⅰ(1)」を修得すること。

法学部

【卒業要件：128単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、36単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、12単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語7単位以上、第2外国語5単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）文系基礎科目

文系基礎科目では、「現代社会／現代史」を修得し、選択必修科目の中から2単位以上を修得する。

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

法学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により12単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

また、法学部において開講する専攻教育科目のうち、総合選択履修方式として認められるのは6単位までである。

履修細目一覧（ 法学部 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キャンパス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計			
全 学 教 育 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	128単位	伊 都 箱 崎	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位			
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			12単位
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※5				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
		理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)				
	生物科学Ⅱ(2)		地球科学Ⅱ(2)				
	生物科学Ⅲ(2)		地球科学Ⅲ(2)				
	数学Ⅰ(2)		図形科学Ⅰ(2)				
	数学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)				
	数学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)				
	物理学Ⅰ(2)		情報科学Ⅰ(2)				
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅱ(2)				
	物理学Ⅲ(2)		情報科学Ⅲ(2)				
化学Ⅰ(2)	健康科学Ⅰ(2)						
化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)						
化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)						
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)	※1				
総合科目							
高年次 教養科目	課題科目				箱・病・大・伊		
	主題科目						
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	2カ国語必修 第1外国語 7単位 第2外国語 5単位 ※2	12単位 ※3	伊 都 箱 崎		
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)					
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)					
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)					
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)					
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)					
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)					
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)					
		言語文化自由選択科目					
		言語文化古典語科目					
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位		伊 都			
文系基礎科目	現代社会/現代史(2)		2単位		箱・伊		
	人文学入門(2)	教育学入門(2)	2単位				
	経済学入門(2)						
理系基礎科目	共通基礎科目 個別基礎科目				伊 都		
情 報 処 理 科 目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)				伊 都		
	情報処理演習Ⅰ(1) ※5						
専攻教育科目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊		
	低年次(第1学期)	法学入門, 政治学入門	80単位	※4	箱 崎		
	(第2学期)	憲法Ⅰ(前半), 民法Ⅰ(前半), 刑法Ⅰ(前半), 政治学原論					
	(第3学期)	憲法Ⅰ(後半), 民法Ⅰ(後半), 刑法Ⅰ(後半), 法政基礎演習					
第4学期以降	法学部学生便覧を参照すること。						

- ※1 少人数セミナー, 総合科目の中から2単位に限り, 文系コア科目, 理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
- ※2 第1外国語, 第2外国語の履修については, 18~19ページ((6)の「(イ)言語文化基礎科目」)を参照のこと。
- ※3 総合選択履修方式の12単位には, 科目区分毎の最低修得単位数分として修得した科目を除いて履修すること。
総合選択履修方式において, 3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
- ※4 総合選択履修方式には, 法学部において開講する専攻教育科目のうち6単位までを含めることができる。
- ※5 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」, 「情報処理演習Ⅰ(1)」を修得すること。

経済学部：経済・経営学科

【卒業要件：128単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(4)に従い、41単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、12単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語7単位以上、第2外国語5単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 文系基礎科目

文系基礎科目では、「現代社会／現代史」を修得し、選択必修科目の中から2単位以上を修得する。

(3) 理系基礎科目

理系基礎科目では、必修科目4単位を修得する。

(4) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

経済学部経済・経営学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により7単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

2年次終了までに、以下の条件を満たさない経済・経営学科の学生は、外国書講読及び演習を除く「選択必修科目」、「自由選択科目」を履修することができない。

(1) 導入基本科目の2単位を修得していること

(2) 基本科目（各学科共通及び経済・経営学科の基本科目）のうちから12単位以上修得していること

(3) 全学教育科目、導入基本科目及び基本科目（各学科共通及び経済・経営学科の基本科目）を計42単位以上修得していること

ただし、他学部から経済学部へ転学部した学生に対しては、この条件は適用しない。

履修細目一覧（ 経済学部：経済・経営学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数		受 講 キャンパス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式			
全 学 教 育 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	伊 都 箱 崎	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位		
	文 系 コア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		12単位
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
		歴史と社会(2)	経済学(2)			
		理 系 コア 科 目	生物科学Ⅰ(2)			
	生物科学Ⅱ(2)		地球科学Ⅱ(2)			
	生物科学Ⅲ(2)		地球科学Ⅲ(2)			
	数学Ⅱ(2)		図形科学Ⅰ(2)			
	数学Ⅲ(2)		図形科学Ⅱ(2)			
	物理学Ⅰ(2)		図形科学Ⅲ(2)			
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)			
	物理学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)			
	化学Ⅰ(2)		情報科学Ⅲ(2)			
化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅰ(2)					
化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅱ(2)					
健康科学Ⅲ(2)						
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)			
総合科目			※1			
高 年 次 教 養 科 目	課題科目				箱・病・大・伊	
	主題科目					
育 科 目	言 語 文 化 基 礎 科 目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)		2カ国語必修 第1外国語 7単位 第2外国語 5単位 ※2	7単位 ※3 128単位	
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)				
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)				
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)				
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)				
		言語文化自由選択科目				
		言語文化古典語科目				
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)		2単位	伊 都		
文 系 基 礎 科 目	現代社会/現代史(2)		2単位	伊 都		
	人文学入門(2)	教育学入門(2)	2単位			
	政治の世界(2)	法の世界(2)				
	【必修科目】		4単位			
理 系 基 礎 科 目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学(2)	4単位	伊 都		
	個別基礎科目	線形代数(2)				
情 報 処 理 科 目	【必修科目】		1単位	伊 都		
	情報処理演習Ⅰ(1)					
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目			箱・病・大・伊		
	低年次(第1学期)		80単位	箱 崎		
	(第2学期)	経済学部学生便覧を参照すること。				
	(第3学期)					
第4学期以降	経済学部学生便覧を参照すること。					

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ((6)の「(イ)言語文化基礎科目」)を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

経済学部：経済工学科

【卒業要件：129単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（4）に従い、45単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、12単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語7単位以上、第2外国語5単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）文系基礎科目

文系基礎科目では、「現代社会／現代史」を修得し、選択必修科目の中から2単位以上を修得する。

（3）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、8単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目4科目6単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目1科目2単位を修得する。

（4）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

経済学部経済工学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

履修細目一覧（ 経済学部：経済工学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数		受 講 キャンパス				
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式					
全 学 教 育 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	伊 都 箱 崎			
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位				
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		12単位		
		思想史(2)	人文地理学(2)					
		科学史(2)	教育学(2)					
		古典の世界(2)	心理学(2)					
		文学(2)	政治学(2)					
		芸術(2)	法学(2)					
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4					
		歴史の認識(2)	社会学(2)					
	理系コア科目	歴史と社会(2)	経済学(2)	6単位		伊 都		
		生物科学Ⅰ(2)	地球科学Ⅰ(2)					
		生物科学Ⅱ(2)	地球科学Ⅱ(2)					
		生物科学Ⅲ(2)	地球科学Ⅲ(2)					
		数学Ⅱ(2)	図形科学Ⅰ(2)					
		数学Ⅲ(2)	図形科学Ⅱ(2)					
		物理学Ⅰ(2)	図形科学Ⅲ(2)					
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)					
		物理学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)					
		化学Ⅰ(2)	情報科学Ⅲ(2)					
化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅰ(2)	6単位	伊 都					
化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅱ(2)							
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)	箱・病・大・伊				
総合科目			※1					
高年次 教養科目	課題科目			4単位 ※3	伊 都 箱 崎			
	主 題 科 目							
科 育 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)	2カ国語必修	129単位			
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)	中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)	第1外国語 7単位				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)	韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)	第2外国語 5単位				
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)	【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)	※2				
		言語文化自由選択科目						
		言語文化古典語科目						
		健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位		伊 都		
		文系基礎科目	現代社会/現代史(2)			2単位	伊 都	
			人文学入門(2)	教育学入門(2)		2単位		
			政治の世界(2)	法の世界(2)		2単位		
理系基礎科目	共通基礎科目	微分積分学・同演習A(1.5)	微分積分学・同演習B(1.5)	6単位	伊 都			
	個別基礎科目	【必修科目】 微分積分統論(2)	2単位					
情報処理科目	【必修科目】 情報処理演習Ⅰ(1)			1単位	箱・病・大・伊			
他専攻の専攻教育科目								
低年次(第1学期)				箱 崎				
(第2学期)	経済学部学生便覧を参照すること。		80単位					
(第3学期)								
第4学期以降	経済学部学生便覧を参照すること。							

※1 少人数セミナー，総合科目の中から2単位に限り，文系コア科目，理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 第1外国語，第2外国語の履修については，18～19ページ（(6)の「(イ)言語文化基礎科目」）を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において，3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

理学部：物理学科

【卒業要件：127単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、53単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、24単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目7科目13単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「数理統計学」、「無機物質化学」、「有機物質化学」

個別基礎科目は、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「微分積分論」、「基礎数学演習Ⅲ」、「熱と波動論基礎」、「現代物理学入門」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、1単位以上を修得すること。なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「情報処理演習Ⅰ」

2. 専攻教育科目

(1) 物理学コース

専攻教育科目では、必修科目7科目28単位を含めて70単位以上を修得する。

(2) 情報理学コース

専攻教育科目では、低年次専攻教育科目を含めて次のとおり70単位以上を修得する。

(イ) 必修科目16単位

(ロ) 選択必修科目及び選択科目から54単位以上(選択必修科目24単位以上を含む。)

3. 総合選択履修方式

理学部物理学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

第2年次第2学期に進級するためには、進級判定時に全学教育科目及び低年次専攻教育科目を合わせて40単位以上を修得しておかなければならない。

ただし、全学教育科目の「コアセミナー」は必ず修得しておかなければならない。

第2学年第2学期に進級していなければ、第2学年2学期以降に開講される専攻教育科目は履修できない。

なお、第2年次第2学期に進級した者は、志望と成績によって物理学コースもしくは情報理学コースに配属される。おいて、進級判定の時期は2年次の9月とする。

5. その他

(1) 物理学コース

「物理学特別研究Ⅰ」及び「物理学特別研究Ⅱ」を履修するためには、4年次以降の年度の始めまでに専攻教育科目の必修科目28単位のうち「物理学特別研究Ⅰ」及び「物理学特別研究Ⅱ」を除く全て(20単位)を修得しておかなければならない。

(2) 情報理学コース

「情報科学講究」(3年次後期・必修3単位)を履修するためには、あらかじめ専攻教育科目の選択必修科目から21単位以上を修得しておかなければならない。

「情報科学特別研究」(4年次通年・必修10単位)を履修するためには、あらかじめ専攻教育科目の他の必修科目6単位を修得しておかなければならない。

履修細目一覧（ 理学部：物理学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ン パ ス				
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計					
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	4単位 ※3	127単位	伊 都 箱 崎			
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位						
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)				6単位		
		思想史(2)	人文地理学(2)						
		科学史(2)	教育学(2)						
		古典の世界(2)	心理学(2)						
		文学(2)	政治学(2)						
		芸術(2)	法学(2)						
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4						
		歴史の認識(2)	社会学(2)						
		歴史と社会(2)	経済学(2)						
	理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)				10単位		
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)						
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)						
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)						
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)						
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)						
		物理学Ⅲ(2)	健康科学Ⅰ(2)						
		化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)						
		化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)						
		地球科学Ⅱ(2)							
	地球科学Ⅲ(2)								
	少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)				※1		
	総合科目								
高年次 教養科目	課題科目								
	主題科目								
科 育 目	言語 文化 科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	4単位 ※3	伊 都 箱 崎				
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)							
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)							
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語Ⅳ(1), 中国語会話(1)							
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)							
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)							
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)							
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)							
		言語文化自由選択科目							
		言語文化古典語科目							
		健康・スポーツ科学科目				健康・スポーツ科学演習(2)	2単位	伊 都 箱 崎	
		文系基礎科目							
		理系基礎科目				共通基礎科目	【必修科目】 微積分学・同演習A(1.5) 微積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 電磁気学(2) 自然科学総合実験(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 数理統計学(2) 無機物質化学(2) 有機物質化学(2)	13単位 24単位	伊 都
							個別基礎科目		
情報処理科目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅰ(1)		1単位						
他専攻の専攻教育科目				箱 崎					
低年次(第1学期)	物理学入門, 物理学特別講義A(物理学最前線)		70単位						
(第2学期)	力学, 熱力学, 計算機科学Ⅰ, 物理学基礎演習								
(第3学期)	解析力学・同演習, 物理学Ⅰ, 計算機科学Ⅱ								
第4学期以降									

※1 少人数セミナー，総合科目の中から2単位に限り，文系コア科目，理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができる。

※2 第1外国語，第2外国語の履修については，18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において，3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

理学部：化学科

【卒業要件：127単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、53単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、24単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目6科目11単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「電磁気学」、「無機物質化学」、「有機物質化学」

個別基礎科目は必修科目2科目4単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「微分積分統論」、「熱と波動論基礎」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、1単位以上を修得すること。なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「情報処理演習Ⅰ」

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて70単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

理学部化学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

第2学年第2学期に進級するためには、進級判定時に全学教育科目から40単位以上を修得しておかなければならない。

ただし、全学教育科目の「コアセミナー」は必ず修得しておかなければならない。

おって、進級判定の時期は2年次の9月とする。

5. その他

「化学特別研究」を履修するにあたっては、あらかじめ他の必修科目12単位並びに選択科目A及び選択科目Bから50単位以上を修得しておかなければならない。

理学部の他学科及び他学部の専攻教育科目は、審議の上、選択科目Bとして認めることがある。

履修細目一覧（ 理学部：化学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キャンパス			
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計				
全 学 科 教 育 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	4単位 ※3	127単位	伊 都 箱 崎		
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位					
	文 系 コア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)				6単位	
		思想史(2)	人文地理学(2)					
		科学史(2)	教育学(2)					
		古典の世界(2)	心理学(2)					
		文学(2)	政治学(2)					
		芸術(2)	法学(2)					
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4					
		歴史の認識(2)	社会学(2)					
		歴史と社会(2)	経済学(2)					
		理 系 コア 科 目	生物科学Ⅰ(2)					図形科学Ⅰ(2)
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)					
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)					
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)					
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)					
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)					
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)					
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)					
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)					
地球科学Ⅱ(2)								
地球科学Ⅲ(2)								
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)	※1					
総合科目								
高年次課題科目 教養科目 主 題 科 目 社会連携科目								
言 語 文 化 科 目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)		2力国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	4単位 ※3	伊 都 箱 崎			
	ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)							
	フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラティクⅠ(1), フランス語プラティクⅡ(1)							
	中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)							
	ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)							
	韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)							
	スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)							
	【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)							
	言語文化自由選択科目							
	言語文化古典語科目							
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位			伊 都 箱 崎			
文 系 基 礎 科 目								
理 系 基 礎 科 目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 自然科学総合実験(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 電磁気学(2) 無機物質化学(2) 有機物質化学(2)	11単位	24単位	伊 都			
		個別基礎科目	【必修科目】 基礎化学結合論(2) 基礎化学熱力学(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 微分積分統論(2) 熱と波動論基礎(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅰ(1)			4単位		
			情報処理科目			1単位		
	他専攻の専攻教育科目							箱・病・大・伊
	専 攻 教 育 科 目	低年次(第1学期)						
		(第2学期)	無機化学基礎Ⅰ, 有機化学Ⅰ			70単位		箱 崎
(第3学期)		無機化学基礎Ⅱ, 物理化学Ⅰ, 有機化学Ⅱ, 量子化学序論						
第4学期以降								

※1 少人数セミナー，総合科目の中から2単位に限り，文系コア科目，理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語，第2外国語の履修については，18～19ページ（(6)の「(イ)言語文化基礎科目」）を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において，3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

理学部：地球惑星科学科

【卒業要件：127単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、53単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、24単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目7科目13単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「数理統計学」、「電磁気学」、「有機物質化学」、「集団生物学」

個別基礎科目は、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「基礎化学熱力学」、「地球科学概論」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、1単位以上を修得すること。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「情報処理演習Ⅰ」

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて70単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

理学部地球惑星科学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

第2学年第2学期以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、第2学年第2学期までに全学教育科目から40単位以上を修得しておかなければならない。

ただし、全学教育科目の「コアセミナー」は必ず修得しておかなければならない。

おって、進級判定の時期は2年次の9月とする。

履修細目一覧（ 理学部：地球惑星科学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ン パ ス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計			
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	4単位 ※3	127単位		
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位				
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)			6単位	
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
	理系コア科目	歴史と社会(2)	経済学(2)			10単位	
		生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)				
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)				
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)				
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)				
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)				
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)				4単位
		物理学Ⅲ(2)	健康科学Ⅰ(2)				
		化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)				
		化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)				
	地球科学Ⅱ(2)						
	地球科学Ⅲ(2)						
	少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)				
総合科目		※1					
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目						
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	2か国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	4単位 ※3			
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)					
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)					
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語Ⅳ(1), 中国語会話(1)					
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)					
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)					
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)					
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)					
		言語文化自由選択科目					
		言語文化古典語科目					
		健康・スポーツ科学科目			健康・スポーツ科学演習(2)	2単位	
		文系基礎科目					
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 無機物質化学(2) 自然科学総合実験(2)	13単位	24単位			
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 数理統計学(2) 電磁気学(2) 有機物質化学(2) 集団生物学(2)					
		個別基礎科目					
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 基礎化学熱力学(2) 地球科学概論(2)					
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅰ(1)					
	情報処理科目		1単位				
		他専攻の専攻教育科目					
		低年次(第1学期)	固体地球科学(2), 大気海洋科学(2), 宇宙科学概論(2)		70単位		
		(第2学期)	生物圏環境科学(2), 地球惑星数学Ⅰ(2), 地球惑星実験学(2)				
		(第3学期)	基礎地質学(2) 構造地質学(2), 熱・統計力学(2), 地球惑星数学Ⅱ(2)				
第4学期以降	地球化学Ⅰ(2)						

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

理学部：数学科

【卒業要件：127単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、53単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、24単位以上を修得する。

ただし、24単位には理学部において開講する専攻教育科目のうち6単位までを含めることができる。

共通基礎科目は必修科目8科目15単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目2科目3単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「基礎数学演習Ⅱ」、「基礎数学演習Ⅲ」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅲ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として必修科目8科目（32単位）および選択必修科目8科目のうち少なくとも4科目（16単位）を含む70単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

理学部数学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

第2学年第2学期に進級するためには、第2学年第2学期までに全学教育科目及び専攻教育科目を合わせて40単位以上修得しておかなければならない。

ただし、全学教育科目の「コアセミナー」は必ず修得しておかなければならない。

第2学年第2学期に進級していなければ、第2学年第2学期以降に開講される専攻教育科目は履修できない。

おって、進級判定の時期は2年次の9月とする。

5. その他

「数理学講究第Ⅰ」の履修にあたっては、あらかじめ専攻教育科目の必修科目から12単位以上及び選択必修科目から12単位以上を修得しておかなければならない。

履修細目一覧（ 理学部：数学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ー ス	
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計		
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位		
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位		
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位	10単位	伊 都
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※5			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
		歴史と社会(2)	経済学(2)			
		理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)			
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)			
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)			
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)			
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)			
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)			
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)			
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)			
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)			
地球科学Ⅱ(2)						
地球科学Ⅲ(2)						
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)			
総合科目			※1			
高年次 教養科目	課題科目					箱・病・大・伊
	主題科目 社会連携科目					
教 育 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)		2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	4単位 ※3	127単位
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)				
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)				
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)				
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)				
		言語文化自由選択科目				
		言語文化古典語科目				
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)		2単位		伊 都 箱・伊	
文系基礎科目						
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5)		15単位	24単位 ※4	伊 都
		数理統計学(2) 力学基礎・同演習(3) 電磁気学(2) 自然科学総合実験(2)				
	個別基礎科目	【必修科目】 微分積分統論(2) 基礎数学演習Ⅰ(1) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 基礎数学演習Ⅱ(1) 基礎数学演習Ⅲ(1)		3単位		
		情報処理科目		1単位		
情報処理科目	【必修科目】 情報処理演習Ⅲ(1)		1単位			
専攻教育科目	他専攻の専攻教育科目					箱・病・大・伊
	低年次(第1学期)	数学基礎(2)		70単位	伊 都	
	(第2学期)	数学概論Ⅰ・演習(4)				
	(第3学期)	数学概論Ⅱ・演習(3) 計算機数学概論(2)				
第4学期以降						

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18~19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

※4 理系基礎科目24単位中、必修科目を除く6単位には、推奨科目以外にもその他の理系基礎科目の科目を含むことができる。

また、理学部における専攻教育科目(他学科科目を含む)のうち6単位までを含めることができる。

ただし、この6単位は専攻教育科目で必要とされる最低修得単位数70単位には含まない。

※5 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

理学部：生物学科

【卒業要件：127単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、53単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、24単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目6科目11単位を修得する。

また、必修科目以外の理系基礎科目（共通基礎科目、個別基礎科目）から13単位以上を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「数理統計学」、「電磁気学」、「有機物質化学」

個別基礎科目は、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「微分積分統論」、「基礎化学結合論」、「基礎化学熱力学」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて70単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

理学部生物学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

第2学年第2学期に進級するためには、進級判定時まで全学教育科目及び低年次専攻教育科目を合わせて42単位以上を修得しておかなければならない。

ただし、全学教育科目の「コアセミナー」及び低年次専攻教育科目の選択必修科目（基礎生物学）から6単位以上は必ず修得しておかなければならない。

第2学年第2学期に進級していなければ、第2学年第2学期以降に開講される専攻教育科目は履修できない。

おって、進級判定の時期は2年次の9月とする。

履修細目一覧（ 理学部：生物学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ッ ス	
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計		
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	4単位 ※3	127単位	
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位			
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)			6単位
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※5			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
		歴史と社会(2)	経済学(2)			
		理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)			
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)			
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)			
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)			
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)			
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)			
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)			
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)			
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)			
地球科学Ⅱ(2)						
地球科学Ⅲ(2)						
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)				
総合科目		※1				
高年次 教養科目	課題科目					
	主題科目 社会連携科目					
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2			
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)				
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)				
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)				
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)				
		言語文化自由選択科目				
		言語文化古典語科目				
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位				
文系基礎科目						
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 自然科学総合実験(2)	11単位			
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 数理統計学(2) 電磁気学(2) 有機物質化学(2)				
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 微分積分統論(2) 基礎化学結合論(2) 基礎化学熱力学(2)				
	個別基礎科目		24単位 ※4			
情報処理科目	【必修科目】 情報処理演習Ⅰ(1)	1単位				
専攻教育科目	他専攻の専攻教育科目					
	低年次(第1学期)	遺伝学(2), 生化学Ⅰ(2)	70単位			
	(第2学期)	生態学Ⅰ(2), 分子生物学(2)				
	(第3学期)	臨海実験Ⅰ(2), 生物物理学(2), 生化学Ⅱ(2), 系統進化学(2)				
第4学期以降						

- ※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
- ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
- ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
- ※4 理系基礎科目24単位中、必修科目を除く13単位には、推奨科目以外にもその他の理系基礎科目の科目を含むことができる。
- ※5 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

医学部：医学科

【卒業要件：205単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、36単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語として英語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、「自然科学総合実験」と次の推奨科目の中から6単位を修得する。

「微分積分学」、「線形代数」、「数理統計学」、「力学基礎・同演習」、「電磁気学」、「無機物質化学」、

「有機物質化学」、「集団生物学」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて165単位を修得する。

3. 総合選択履修方式

医学部医学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記4単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

3年次に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに全学教育科目36単位及び低年次専攻教育科目（医学部医学科授業時間割参照）をすべて修得する。

5年次に進級するためには、4年次終了までに総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

履修細目一覧（ 医学部：医学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 サ ー ス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計			
全 学 教 育 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	205単位	伊 都 病 院	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位			
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			4単位 ※3
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2)				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)				
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)				
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)				
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)				
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)				
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)				
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)				
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)				
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)				
地球科学Ⅱ(2)							
地球科学Ⅲ(2)							
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)				
総合科目			※1				
高年次 教育 科目	課題科目 主題科目 社会連携科目				箱・病・大・伊		
科 育 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 科学英語演習(1)		第1外国語 6単位	4単位 ※3		
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)		第2外国語 4単位			
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)					
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)		※2			
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)					
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)					
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)					
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)					
		言語文化自由選択科目					
		言語文化古典語科目					
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)		2単位				
文 系 基 礎 科 目							
理 系 基 礎 科 目	共通基礎科目	【必修科目】 自然科学総合実験(2)		2単位	8単位		
		微分積分学(2)	線形代数(2)	6単位			
		数理統計学(2)	力学基礎・同演習(3)				
		電磁気学(2)	無機物質化学(2)				
		有機物質化学(2)	集団生物学(2)				
個別基礎科目							
情 報 処 理 科 目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅰ(1)						
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊		
	低年次 (第1学期) (第2学期)	総合医学Ⅰ 系統医学Ⅰ	165単位		病 院		
	第3学期以降	医学部の学部授業時間割を参照すること					

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 言語文化基礎科目の英語科目として「科学英語演習(1)」が2年次後期以降に病院地区で開講される。

なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18~19ページ(16)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。(4年次までには必ず修得しておくこと。)

医学部：生命科学科

【卒業要件：125単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、36単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語として英語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、8単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目5科目8単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「有機物質化学」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて85単位を修得する。

3. 総合選択履修方式

医学部生命科学科の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記4単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

3年次に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに全学教育科目36単位及び低年次専攻教育科目（医学部生命科学科授業時間割参照）をすべて修得する。

履修細目一覧（ 医学部：生命科学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ッ ス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計			
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	125単位	伊 都 病 院	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位			
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		4単位 ※3	伊 都
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2)				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)				
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)				
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)				
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)				
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)				
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)				
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)				
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)				
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)				
地球科学Ⅱ(2)							
地球科学Ⅲ(2)							
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)	※1	箱・病・大・伊		
総合科目							
高 年 次 課 題 科 目 教 養 科 目 主 題 科 目 社 会 連 携 科 目					箱・伊		
教 育 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 科学英語演習(1)		第1外国語 6単位	4単位 ※3	伊 都 病 院	
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)		第2外国語 4単位			
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)					
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)					
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)					
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)					
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)					
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)					
		言語文化自由選択科目					
		言語文化古典語科目					
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)		2単位		箱・伊		
文系基礎科目					伊 都		
理 系 基 礎 科 目	共通基礎科目	【必修科目】 自然科学総合実験(2) 微分積分学・同演習A(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 有機物質化学(2)		8単位		伊 都	
		個別基礎科目					
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅰ(1)					
		情報処理科目					
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊		
	低年次 (第1学期)						
	(第2学期)	医学部生命科学科の授業時間割を参照すること		85単位		病 院	
第3学期以降							

※1 少人数セミナー，総合科目の中から2単位に限り，文系コア科目，理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 言語文化基礎科目の英語科目として「科学英語演習(1)」が2年次後期以降に病院地区で開講される。

なお，第1外国語，第2外国語の履修については，18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において，3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

医学部：保健学科〔看護学専攻〕

【卒業要件：129単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、30単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語として英語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化基礎科目の英語科目として「医用英会話」、「医用外国語」が2年次以降に病院地区で開講される。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では「自然科学総合実験」を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「線形代数」、「有機物質化学」、「集団生物学」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて95単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

医学部保健学科看護学専攻の卒業要件として上記1および2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

4. 進級について

2年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、1年次終了までに、下記の条件を満たしておかなければならない。

（1）全学教育科目の卒業要件30単位以上のうち、2年次で開講される「医用英会話（1）」、「医用外国語（1）」を除く25単位以上を修得する。

（2）総合選択履修方式の卒業要件4単位以上を修得する。

5. その他

3年次後期に開始される臨地実習履修条件については「保健学科学生便覧」を熟読しておくこと。

履修細目一覧（ 医学部：保健学科〔看護学専攻〕 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ッ ス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計			
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	129単位	伊 都 病 院	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位			
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			4単位
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2)				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
		理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)				
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)				
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)				
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)				
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)				
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)				
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)				
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)				
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)				
地球科学Ⅱ(2)							
地球科学Ⅲ(2)							
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)	※1			
総合科目							
高年次 教育 科目	課題科目						
	主眼科目						
言語 文化 科目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1)		第1外国語			
		医用英会話(1), 医用外国語(1)		6単位			
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1)		第2外国語			
		ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)					
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1)		4単位			
		フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)					
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1)		※2			
		中国語Ⅳ(1), 中国語会話(1)					
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1)					
		ロシア語フォーラム(1)					
韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1)							
韓国語フォーラム(1)							
スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1)							
スペイン語フォーラム(1)							
【外国人留学生対象科目】							
日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1)							
日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)							
言語文化自由選択科目							
言語文化古典語科目							
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)		2単位				
文系基礎科目							
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 自然科学総合実験(2)		2単位			
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)					
		線形代数(2) 有機物質化学(2) 集団生物学(2)					
個別基礎科目							
情報処理科目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)						
	情報処理演習Ⅰ(1)						
専攻 教育 科目	他専攻の専攻教育科目						
	低年次						
	(第1学期) (第2学期)	「医学部保健学科学生便覧」を参照すること					
第3学期以降			95単位				

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 言語文化基礎科目の英語科目として「医用英会話(1)」、「医用外国語(1)」が2年次以降に病院地区で開講される。

なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

医学部：保健学科〔放射線技術科学専攻〕

【卒業要件：137単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、38単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語として英語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化基礎科目の英語科目として「医用英会話」、「医用外国語」が2年次以降に病院地区で開講される。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目6科目10単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「力学基礎・同演習」、「細胞生物学」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて95単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

医学部保健学科放射線技術科学専攻の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

4. 進級について

2年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、1年次終了までに、下記の条件を満たしておかなければならない。

（1）全学教育科目の卒業要件38単位以上のうち、2年次で開講される「医用英会話（1）」、「医用外国語（1）」を除く36単位以上を修得する。

（2）総合選択履修方式の卒業要件4単位以上を修得する。

5. その他

4年次への進級条件については「保健学科学生便覧」を熟読しておくこと。

履修細目一覧（ 医学部：保健学科〔放射線技術科学専攻〕 ）

区 分	授 業 科 目		最低修得単位数			受 講 キャンパス	
			科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計		
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	4単位	137単位	伊 都 病 院	
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位				
	文 系 コア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)				6単位
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2)				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
		理 系 コア 科 目	生物科学Ⅰ(2)				
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)				
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)				
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)				
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)				
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)				
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)				
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)				
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)				
地球科学Ⅱ(2)							
地球科学Ⅲ(2)							
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)	※1				
総合科目							
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目				箱・病・大・伊		
言 語 文 化 基 礎 科 目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 医用英会話(1), 医用外国語(1)		第1外国語 6単位				
	ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)		第2外国語 4単位 ※2				
	フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラティクⅠ(1), フランス語プラティクⅡ(1)						
	中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)						
	ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)						
	韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)						
	スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)						
	【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)						
	言語文化自由選択科目						
	言語文化古典語科目						
健康・スポーツ科学科目		健康・スポーツ科学演習(2)		2単位			
文系基礎科目							
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】	10単位				
		微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5)					
		線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5)					
		電磁気学(2) 自然科学総合実験(2)					
		次の科目を修得することが望ましい。					
(推奨科目)							
個別基礎科目	力学基礎・同演習(3) 細胞生物学(2)						
情 報 処 理 科 目	次の科目を修得することが望ましい。						
	(推奨科目)						
	情報処理演習Ⅰ(1)						
他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊			
専攻教育科目	低年次						
	(第1学期)	「医学部保健学科学生便覧」を参照すること	95単位		病 院		
	(第2学期)						
第3学期以降							

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができる。

※2 言語文化基礎科目の英語科目として「医用英会話(1)」、「医用外国語(1)」が2年次以降に病院地区で開講される。

なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

医学部：保健学科〔検査技術科学専攻〕

【卒業要件：136単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、41単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語として英語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化基礎科目の英語科目として「医用英会話」、「医用外国語」が2年次以降に病院地区で開講される。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、12単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目6科目12単位を修得する。

なお、推奨科目である「力学基礎・同演習」、「集団生物学」のうち、「力学基礎・同演習」は、必修科目である「電磁気学」の修得に不可欠であるため、必ず履修することが望ましい。

（3）情報処理科目

情報処理科目では「情報処理演習Ⅰ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて91単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

医学部保健学科検査技術科学専攻の卒業要件として上記1及び2の卒業要件の外に総合選択履修方式により4単位以上を修得する

4. 進級について

2年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、1年次終了までに、下記の条件を満たしておかなければならない。

（1）全学教育科目の卒業要件41単位以上のうち、2年次で開講される「医用英会話（1）」、「医用外国語（1）」を除く39単位以上を修得する。

（2）総合選択履修方式の卒業要件4単位以上を修得する。

5. その他

4年次に開始される臨地実習履修条件については「保健学科学生便覧」を熟読しておくこと。

履修細目一覧（ 医学部：保健学科〔検査技術科学専攻〕 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数		受 講 キャンパス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式			
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	伊 都 病 院	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位		
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		136単位
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2)			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
	理系コア科目	歴史と社会(2)	経済学(2)	10単位		
		生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)			
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)			
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)			
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)			
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)			
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)			
		物理学Ⅲ(2)	健康科学Ⅰ(2)			
	少人数セミナー	化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)	4単位		
		化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)			
地球科学Ⅱ(2)						
地球科学Ⅲ(2)						
総合科目	少人数セミナー(2)	(2単位)	※1			
高年次 教養科目	課題科目			箱・病・大・伊		
	主題科目					
科 育 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1)	第1外国語	4単位		
		医用英会話(1), 医用外国語(1)	6単位			
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1)	第2外国語			
		ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)			4単位	
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1)	※2			
		フランス語プラティクⅠ(1), フランス語プラティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1)	4単位			
		中国語LL(1), 中国語会話(1)				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1)	※2			
		ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1)	4単位			
		韓国語フォーラム(1)				
スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1)	※2					
スペイン語フォーラム(1)						
【外国人留学生対象科目】						
日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1)	4単位					
日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)						
言語文化自由選択科目						
言語文化古典語科目						
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位				
文系基礎科目						
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】	12単位	伊 都		
		微分積分学(2)			電磁気学(2)	
		線形代数(2)			有機物質化学(2)	
		細胞生物学(2)			自然科学総合実験(2)	
		次の科目を修得することが望ましい。				
個別基礎科目	(推奨科目)					
	力学基礎・同演習(3)	集団生物学(2)				
情報処理科目	【必修科目】	1単位				
	情報処理演習Ⅰ(1)					
専攻教育科目	他専攻の専攻教育科目			箱・病・大・伊		
	低年次					
	(第1学期)	「医学部保健学科学生便覧」を参照すること	91単位	病 院		
	(第2学期)					
第3学期以降						

※1 少人数セミナー，総合科目の中から2単位に限り，文系コア科目，理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 言語文化基礎科目の英語科目として「医用英会話(1)」，「医用外国語(1)」が2年次以降に病院地区で開講される。

なお，第1外国語，第2外国語の履修については，18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

歯学部

【卒業要件：278単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、50単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語として英語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、21単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目9科目19単位を修得する。

個別基礎科目は1科目2単位以上を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「分子生物学」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて224単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

歯学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち、2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

2年次に開講される専攻教育科目を履修するためには、1年次に低年次専攻教育科目の「歯学総論Ⅰ」、「アーリーエクスポージャーⅠ」を修得する。

3年次に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに上記1に定める全学教育科目50単位、並びに2年次に開講される専攻教育科目のすべて(歯学部授業計画参照)を修得する。

履修細目一覧（歯学部）

区分	授業科目	最低修得単位数			受講 キャンパス	
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合計		
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	4単位 ※3	278単位	
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位			
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)			6単位
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2)			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
		歴史と社会(2)	経済学(2)			
		理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)			
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)			
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)			
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)			
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)			
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)			
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)			
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)			
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)			
地球科学Ⅱ(2)						
地球科学Ⅲ(2)						
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)				
総合科目		※1				
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目			箱・病・大・伊		
教 育 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	第1外国語 6単位			
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティムⅠ(1), ドイツ語プラクティムⅡ(1)	第2外国語 4単位			
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラティクⅠ(1), フランス語プラティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)	※2			
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)				
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)				
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)				
		言語文化自由選択科目				
		言語文化古典語科目				
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位				
文系基礎科目						
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学(2) 線形代数(2) 数理統計学(2) 力学基礎・同演習(3) 無機物質化学(2) 有機物質化学(2) 細胞生物学(2) 集団生物学(2) 自然科学総合実験(2)	19単位			
		個別基礎科目 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 分子生物学(2)	2単位			
		情報処理科目	【必修科目】 情報処理演習Ⅰ(1)	1単位		
		他専攻の専攻教育科目				
専 攻 教 育 科 目	低年次	入門科目	224単位	箱・病・大・伊 病院		
	(第1学期)					
	(第2学期)	歯学総論Ⅰ(8)・アーリーエクスポージャーⅠ(4)				
第3学期以降	歯学部授業計画を参照すること。					

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

薬学部：創薬科学科

【卒業要件：128単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、46単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語として英語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、17単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目8科目15単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目1科目2単位を修得する。

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習I」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて78単位を修得する。

3. 総合選択履修方式

薬学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち、2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

2年次終了時に進級査定を実施する。

3年次に開講される専攻教育科目を履修するためには、全学教育科目並びに必修専攻教育科目について、2年次終了までに修得すべき科目のうち、未修得の科目が5科目以下でなければならない。

履修細目一覧（薬学部：創薬科学科）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ン パ ス			
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計				
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	128単位	伊 都 病 院		
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位				
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			10単位	
		思想史(2)	人文地理学(2)					
		科学史(2)	教育学(2)					
		古典の世界(2)	心理学(2)					
		文学(2)	政治学(2)					
		芸術(2)	法学(2)					
		先史学(2)	日本国憲法(2)					
		歴史の認識(2)	社会学(2)					
		歴史と社会(2)	経済学(2)					
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)					図形科学Ⅰ(2)
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)					
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)					
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)					
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)					
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)					
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)					
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)					
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)					
	地球科学Ⅱ(2)							
	地球科学Ⅲ(2)							
	少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)	※1				
	総合科目							
	高 年 次 教 養 科 目	課題科目						箱・病・大・伊
		主題科目						
科 育 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1)	第1外国語	4単位 ※3	伊 都 病 院			
		英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	6単位					
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1)	第2外国語					
		ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)				4単位		
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1)	※2					
		フランス語プラティクⅠ(1), フランス語プラティクⅡ(1)						
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1)						
		中国語L L(1), 中国語会話(1)						
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1)						
		ロシア語フォーラム(1)						
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1)						
		韓国語フォーラム(1)						
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1)						
スペイン語フォーラム(1)								
【外国人留学生対象科目】								
日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1)								
日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)								
言語文化自由選択科目					箱・伊			
言語文化古典語科目					伊 都			
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位			箱・伊			
文系基礎科目								
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】	15単位		伊 都			
		微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5)						
	線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5)							
	数理統計学(2) 力学基礎・同演習(3)							
個別基礎科目	電磁気学(2) 自然科学総合実験(2)	2単位						
	【必修科目】							
情報処理科目	基礎化学結合論(2)	1単位						
	【必修科目】							
情報処理演習Ⅰ(1)								
他専攻の専攻教育科目					箱・病・大・伊			
専攻教育科目	低年次				病 院			
	(第1学期)	基礎生物学演習, 医療・倫理と薬学, 有機薬学Ⅰ 化学実験	78単位					
	(第2学期)	有機薬学Ⅱ, 物理薬学Ⅰ, 生命薬学Ⅰ, 薬剤学Ⅰ						
第3学期以降	薬学部修学の手引きを参照すること。							

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ((6)の「(イ)言語文化基礎科目」)を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

薬学部：臨床薬学科

【卒業要件：190単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、46単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語として英語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、17単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目8科目15単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目1科目2単位を修得する。

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて140単位を修得する。

3. 総合選択履修方式

薬学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち、2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

2年次終了時及び4年次終了時に進級査定を実施する。

(1) 3年次に開講される専攻教育科目を履修するためには、全学教育科目並びに必修専攻教育科目について、2年次終了までに修得すべき科目のうち、未修得の科目が5科目以下でなければならない。

(2) 5年次に開講される専攻教育科目を履修するためには、全学教育科目並びに専攻教育科目について、4年次終了までに修得すべき科目のうち、未修得の科目が3科目以下でなければならない。

履修細目一覧（薬学部：臨床薬学科）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ッ ス			
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計				
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	190単位	伊 都 病 院		
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位				
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			10単位	
		思想史(2)	人文地理学(2)					
		科学史(2)	教育学(2)					
		古典の世界(2)	心理学(2)					
		文学(2)	政治学(2)					
		芸術(2)	法学(2)					
		先史学(2)	日本国憲法(2)					
		歴史の認識(2)	社会学(2)					
		歴史と社会(2)	経済学(2)					
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)					図形科学Ⅰ(2)
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)					
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)					
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)					
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)					
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)					
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)					
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)					
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)					
	地球科学Ⅱ(2)							
	地球科学Ⅲ(2)							
	少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)	※1				
	総合科目							
	高 年 次 教 養 科 目	課題科目						箱・病・大・伊
		主題科目						
科 育 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1)	第1外国語	4単位 ※3	伊 都 病 院			
		英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	6単位					
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1)	第2外国語					
		ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)				4単位		
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1)	※2					
		フランス語プラティクⅠ(1), フランス語プラティクⅡ(1)						
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1)						
		中国語LL(1), 中国語会話(1)						
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1)						
		ロシア語フォーラム(1)						
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1)						
		韓国語フォーラム(1)						
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1)						
		スペイン語フォーラム(1)						
【外国人留学生対象科目】								
日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1)								
日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)								
言語文化自由選択科目					箱・伊			
言語文化古典語科目					伊 都			
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位			箱・伊			
文系基礎科目								
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】	15単位		伊 都			
		微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5)						
	線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5)							
	数理統計学(2) 力学基礎・同演習(3)							
個別基礎科目	電磁気学(2) 自然科学総合実験(2)	2単位						
情報処理科目	【必修科目】	1単位						
	情報処理演習Ⅰ(1)							
他専攻の専攻教育科目					箱・病・大・伊			
専攻教育科目	低年次				病 院			
	(第1学期)	基礎生物学演習, 医療・倫理と薬学, 有機薬化学Ⅰ 化学実験	140単位					
	(第2学期)	有機薬化学Ⅱ, 物理薬学Ⅰ, 生命薬学Ⅰ, 薬剤学Ⅰ						
第3学期以降	薬学部修学の手引きを参照すること。							

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ((6)の「(イ)言語文化基礎科目」)を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

工学部：建築学科

【卒業要件：131単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、47単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、19単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目6科目11単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目4科目8単位を修得する。

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記4単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに上記1に定める全学教育科目の47単位をすべて修得しておかなければならない。

履修細目一覧（工学部：建築学科）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ン パ ス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計			
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	131単位	伊 都 箱 崎	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位			
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			10単位
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)				
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)				
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)				
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)				
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)				
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)				
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)				
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)				
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)				
	地球科学Ⅱ(2)						
	地球科学Ⅲ(2)						
	少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)			
	総合科目			※1			
	高 年 次 教 養 科 目	課題科目					
		主 題 科 目 社会連携科目					
科 育 目	言 語 文 化 基 礎 科 目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)		4単位 ※3			
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)					
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラティクⅠ(1), フランス語プラティクⅡ(1)					
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語Ⅳ(1), 中国語会話(1)					
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)					
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)					
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)					
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)					
		言語文化自由選択科目					
		言語文化古典語科目					
		健康・スポーツ科学科目			健康・スポーツ科学演習(2)	2単位	
		文系基礎科目					
		理 系 基 礎 科 目	共通基礎科目		【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 自然科学総合実験(2)		11単位
					【必修科目】 熱と波動論基礎(2) 図学(2) 基礎製図(2) 空間表現実習(2)		8単位
個別基礎科目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅰ(1) ※4						
情報処理科目							
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊		
	低 年 次 (第1学期) (第2学期) (第3学期)	入門科目	建築概論	80単位			
		世界建築史, 建築計画総論, 建築の力学, 建築デザイン					
		建築構造力学, 建築環境基礎論, 建築設計基礎演習					
第4学期以降		工学部専攻教育科目履修の手引きを参照すること。		箱 崎			

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」、「情報処理演習Ⅰ(1)」を修得すること。

工学部：電気情報工学科

【卒業要件：131単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、48単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、19単位以上を修得する。

共通基礎科目では、必修科目6科目11単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「数理統計学」

個別基礎科目では、必修科目4科目6単位と次の推奨科目の中から2単位を修得する。

「現代物理学入門」、「基礎化学結合論」、「基礎化学熱力学」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅱ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、低年次専攻教育科目を含めて79単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち、2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

電気情報工学科では、次の科目のうち個別基礎科目で修得した1科目2単位を除いて、1科目2単位以上を修得することを推奨する。

「数理統計学」、「現代物理学入門」、「基礎化学結合論」、「基礎化学熱力学」

4. 進級について

進級するためには、次の①～③の条件を、2年次後期終了までにすべて満たしていること。

① 全学教育科目および総合選択履修方式による単位を、コアセミナーおよび自然科学総合実験の2科目4単位を含む40単位修得していること。

② 低年次専攻教育科目13単位のうち10単位以上を修得していること。

③ 履修課程ごとに定められた2年次に開講される専攻教育科目のうち18単位以上を修得していること。

履修細目一覧（ 工学部：電気情報工学科 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キャンパス				
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計					
全 学 科 教 育 科 目	共 通 コ ア 科 目	人間性(2) 社会性(2)	4単位		伊 部				
	コ ア セ ミ ナ ー	コアセミナー(2)	2単位						
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		10単位			
		思想史(2)	人文地理学(2)						
		科学史(2)	教育学(2)						
		古典の世界(2)	心理学(2)						
		文学(2)	政治学(2)						
		芸術(2)	法学(2)						
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※5						
		歴史の認識(2)	社会学(2)						
		歴史と社会(2)	経済学(2)						
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)				図形科学Ⅰ(2)	4単位	10単位
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)						
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)						
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)						
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)						
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)						
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)						
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)						
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)						
地球科学Ⅱ(2)									
地球科学Ⅲ(2)									
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)							
総合科目		※1							
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目				箱・病・大・伊				
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	4単位 ※3	131単位				
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)							
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)							
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語L1(1), 中国語会話(1)							
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)							
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)							
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)							
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)							
		言語文化自由選択科目							箱・伊
		言語文化古典語科目							伊 部
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位		箱・伊					
文 系 基 礎 科 目									
理 系 基 礎 科 目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 自然科学総合実験(2)	11単位	8単位	伊 部				
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) ※4 数理統計学(2)							
		【必修科目】 微分積分統論(2) 基礎数学演習Ⅰ(1) 基礎数学演習Ⅱ(1) 熱と波動論基礎(2)							
	個別基礎科目	次の推奨科目の中から2単位を修得すること。 (推奨科目) ※4 現代物理学入門(2) 基礎化学結合論(2) 基礎化学熱力学(2)	6単位	2単位					
			2単位						
情 報 処 理 科 目	【必修科目】 情報処理演習Ⅱ(1)	1単位							
他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊					
専 攻 教 育 科 目	低年次	入門 科目	79単位		伊 部				
	(第1学期)	電気情報数学, 回路理論Ⅰ, プログラミング論Ⅰ							
	(第2学期)	電磁気学Ⅰ, 回路理論Ⅱ, 論理回路, プログラミング演習Ⅰ							
第3学期以降	工学部専攻教育科目履修の手引きを参照すること。								

- ※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
- ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
- ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
- ※4 理系基礎科目の推奨科目の中から、総合選択履修方式として1科目2単位を履修することが望ましい。
- ※5 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

工学部：物質科学工学科

【卒業要件：135単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、45単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、17単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目9科目17単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「細胞生物学」

個別基礎科目は次の推奨科目を修得することが望ましい。

「熱と波動論基礎」、「基礎化学結合論」、「基礎化学熱力学」、「分子生物学」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅰ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として入門科目を除いた低年次専攻教育科目も含めて84単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により6単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

また、次の科目を修得することが望ましい。

個別基礎科目の推奨科目の中から1科目2単位以上、専攻教育科目（入門科目）の「物質科学工学概論第一」「物質科学工学概論第二」と情報処理科目の「情報処理演習Ⅰ」

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに次の条件を満たしておかなければならない。

① 全学教育科目を41単位以上修得する。

② 2年次終了までに伊都地区において開講される専攻教育科目について別に定める単位数を修得する。

履修細目一覧（工学部：物質科学工学科）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 ヤッパ入			
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計				
全 学 科 教 育 科 目	共 通 コ ア 科 目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	伊 都			
	コ ア セ ミ ナ ー	コアセミナー(2)		2単位				
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		10単位		
		思想史(2)	人文地理学(2)					
		科学史(2)	教育学(2)					
		古典の世界(2)	心理学(2)					
		文学(2)	政治学(2)					
		芸術(2)	法学(2)					
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4					
		歴史の認識(2)	社会学(2)					
		歴史と社会(2)	経済学(2)					
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)				図形科学Ⅰ(2)	4単位
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)					
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)					
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)					
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)					
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)					
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)					
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)					
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)					
	地球科学Ⅱ(2)							
	地球科学Ⅲ(2)							
	少 人 数 セ ミ ナ ー	少人数セミナー(2)		(2単位)				
	総 合 科 目			※1				
高 年 次 教 養 科 目	課 題 科 目				箱・病・大・伊			
主 題 科 目								
言 語 文 化 科 目	言 語 文 化 基 礎 科 目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)		2か国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	6単位 ※3 135単位			
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)						
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)						
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)						
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)						
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)						
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)						
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)						
		言語文化自由選択科目						
		言語文化古典語科目						
		健康・スポーツ科学科目				健康・スポーツ科学演習(2)	2単位	
		理 系 基 礎 科 目	共 通 基 礎 科 目			【必修科目】		17単位
微積分学・同演習A(1.5) 微積分学・同演習B(1.5)								
線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5)								
力学基礎・同演習(3) 電磁気学(2)								
無機物質化学(2) 有機物質化学(2)								
自然科学総合実験(2)								
次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)								
細胞生物学(2)								
個 別 基 礎 科 目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)							
	熱と波動論基礎(2) 基礎化学結合論(2) 基礎化学熱力学(2) 分子生物学(2)							
情 報 処 理 科 目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)							
	情報処理演習Ⅰ(1) ※4							
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊			
	低年次(第1学期)	入 門 科 目	次の科目を全て履修することが望ましい 物質科学工学概論第一(1) 物質科学工学概論第二(1)					
	(第2学期)		基礎物理化学第一及び演習, 機械工学大意第二, 電気工学基礎			6単位		
	(第3学期)		基礎物理化学第二及び演習, コース指定科目(2または4)			4または 6単位		
第4学期以降	工学部専攻教育科目履修の手引きを参照すること							

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」,「情報処理演習Ⅰ(1)」を修得すること。

工学部：地球環境工学科

【卒業要件：139単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、52単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、23単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目8科目13単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目3科目6単位を修得する。ただし、船舶海洋システム工学コースは、前述の個別基礎科目に加えて「基礎製図」2単位を含む、4科目8単位を修得する。

共通基礎科目及び個別基礎科目の推奨科目から4単位（船舶海洋システム工学コースは2単位）を修得する。

共通基礎科目の「無機物質化学」、「集団生物学」

個別基礎科目の「基礎化学熱力学」、「地球科学概論」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅲ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、入門科目を除いた低年次専攻教育科目を含めて83単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式より4単位以上を修得する。なお、上記4単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。ただし、総合選択履修方式のうち2単位以上は工学部地球環境工学科（配属されるコース）の専攻教育科目以外から履修すること。

また、次の科目を履修すること。

専攻教育科目（入門科目）の「地球環境工学入門Ⅰ」、「地球環境工学入門Ⅱ」

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに下記の条件を満たしておかなければならない。

① 総合選択履修方式による単位を除く全学教育科目52単位を全て修得する。

② 総合選択履修方式による単位のうち、専攻教育科目の入門科目2単位を修得する。

③ 2年次終了までに伊都地区において開講される専攻教育科目について別に定める単位数を修得する。

履修細目一覧（工学部：地球環境工学科）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ャ ス				
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計					
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	伊 都				
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位					
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		10単位			
		思想史(2)	人文地理学(2)						
		科学史(2)	教育学(2)						
		古典の世界(2)	心理学(2)						
		文学(2)	政治学(2)						
		芸術(2)	法学(2)						
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※6						
		歴史の認識(2)	社会学(2)						
		歴史と社会(2)	経済学(2)						
		理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)				図形科学Ⅰ(2)	4単位	
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)						
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)						
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)						
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)						
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)						
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)						
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)						
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)						
地球科学Ⅱ(2)									
地球科学Ⅲ(2)									
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)							
総合科目		※1							
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目				箱・病・大・伊				
教 育 目 的 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	4単位 ※3	伊 都				
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)							
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)							
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)							
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)							
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)							
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)							
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)							
		言語文化自由選択科目							箱・伊
		言語文化古典語科目							伊 都
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位		箱・伊					
文系基礎科目									
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習A(1.5) 力学基礎・同演習B(1.5) 電磁気学(2) 自然科学総合実験(2)	13単位	伊 都					
		【必修科目】 微分積分論(2) 熱と波動論基礎(2) 図学(2) 基礎製図(2) ※4							
		次の推奨科目(4科目)から、建設都市工学コース及び地球システム工学コースは4単位以上、船舶海洋システム工学コースは2単位以上を修得すること。							
	推奨科目(共通) 無機物質化学(2) 集団生物学(2) 推奨科目(個別) 基礎化学熱力学(2) 地球科学概論(2)	4単位 (2単位 ※5)							
	情報処理科目	【必修科目】 情報処理演習Ⅲ(1)	1単位						
他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊					
専攻教育科目	低年次	入 門 科 目	次の科目を履修すること。 地球環境工学入門Ⅰ(1) 地球環境工学入門Ⅱ(1)		伊 都				
	(第1学期)								
	(第2学期)		電気工学基礎, 機械工学大意第一	6単位		83単位			
	(第3学期)		電気情報工学基礎						
第4学期以降		工学部専攻教育科目履修の手引きを参照すること。	77単位						

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18~19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

※4 船舶海洋システム工学コースは、「基礎製図(2)」は必修。

※5 船舶海洋システム工学コースは、2単位を修得すること。

※6 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

工学部：エネルギー科学科

【卒業要件：134単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、50単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、21単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目9科目15単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目3科目6単位を修得する。

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅳ」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、入門科目を除いた低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記4単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

ただし、総合選択履修方式のうち2単位以上は工学部エネルギー科学科の専攻教育科目以外から修得する。

また、専攻教育科目（入門科目）の「エネルギー科学展望」、「エネルギー科学と倫理」を修得すること。

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに下記の条件を満たしておかなければならない。

① 全学教育科目50単位をすべて修得する。

② 総合選択履修方式による単位のうち、専攻教育科目（入門科目）2単位を修得する。

履修細目一覧（工学部：エネルギー科学科）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ン パ ス					
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計						
全 学 教 育 目 的	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	134単位	伊 都				
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位		伊都・筑紫				
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		10単位	伊 都			
		思想史(2)	人文地理学(2)							
		科学史(2)	教育学(2)							
		古典の世界(2)	心理学(2)							
		文学(2)	政治学(2)							
		芸術(2)	法学(2)							
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4							
		歴史の認識(2)	社会学(2)							
	理系コア科目	歴史と社会(2)	経済学(2)	4単位		4単位	伊 都			
		生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)							
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)							
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)							
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)							
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)							
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)							
		物理学Ⅲ(2)	健康科学Ⅰ(2)							
	化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)	4単位	4単位		伊 都				
	化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)								
地球科学Ⅱ(2)										
地球科学Ⅲ(2)										
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)							
総合科目			※1							
高年次 教養科目	課題科目				箱・病・大・伊					
	主題科目									
	社会連携科目									
科 育 目 的	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)		2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	4単位 ※3	伊 都				
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)								
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)								
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)								
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)								
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)								
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)								
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)								
		言語文化自由選択科目								箱・伊
		言語文化古典語科目								伊 都
	健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位		箱・伊					
文系基礎科目	理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】		15単位	伊 都				
			微分積分学・同演習A(1.5)	微分積分学・同演習B(1.5)						
			線形代数・同演習A(1.5)	線形代数・同演習B(1.5)						
			力学基礎・同演習A(1.5)	力学基礎・同演習B(1.5)						
			電磁気学(2)	無機物質化学(2)						
個別基礎科目	【必修科目】		6単位							
	微分積分統論(2)	熱と波動論基礎(2)								
情報処理科目	【必修科目】		1単位							
	情報処理演習Ⅳ(1)									
専攻教育科目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊					
	(第1学期) (第2学期) (第3学期)	入門科目	次の科目を修得すること。 エネルギー科学展望(1) エネルギー科学と倫理(1)			伊 都				
		情報処理概論, 基礎物理数学演習Ⅰ		80単位						
		熱力学, 基礎物質科学, 基礎物理数学演習Ⅱ								
		力学, 原子物理学, 物理化学, 基礎確率統計学 エネルギー材料科学								
第4学期以降	工学部専攻教育科目履修の手引きを参照すること。									

※1 少人数セミナー, 総合科目の中から2単位に限り, 文系コア科目, 理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 第1外国語, 第2外国語の履修については, 18~19ページ((6)の「(イ)言語文化基礎科目」)を参照のこと。

※3 総合選択履修方式において, 3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」を修得すること。

工学部：機械航空工学科

【卒業要件：139単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、47単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、19単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目15単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目4単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「基礎製図」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習Ⅲ」を修得することが望ましい。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて88単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

また、次の科目を履修することが望ましい。

理系基礎科目の「基礎製図」、情報処理科目の「情報処理演習Ⅲ」、

高年次教養科目の「課題科目Ⅲ」(工学と倫理)

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次後期終了までに下記の条件を満たしておかなければならない。

① 総合選択履修方式により履修する科目を除く全学教育科目の中から46単位以上を修得する。

② 2年次後期終了までに伊都地区において開講される専攻教育科目について別に定める単位数を修得する。

履修細目一覧（工学部：機械航空工学科）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ン パ ス				
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計					
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位		伊 都				
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位						
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位					
		思想史(2)	人文地理学(2)						
		科学史(2)	教育学(2)						
		古典の世界(2)	心理学(2)						
		文学(2)	政治学(2)						
		芸術(2)	法学(2)						
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※4						
		歴史の認識(2)	社会学(2)						
	理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)	10単位					
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)						
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)						
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)						
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)						
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)						
		物理学Ⅲ(2)	健康科学Ⅰ(2)						
		化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)						
		化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)						
地球科学Ⅱ(2)									
地球科学Ⅲ(2)									
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)							
総合科目		※1							
高年次 教養科目	課題科目				箱・病・大・伊				
	主 題 科 目 社会連携科目								
教 育 目 的 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 技術英語(1)	2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	4単位 ※3	139単位 伊 都				
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)							
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラティクⅠ(1), フランス語プラティクⅡ(1)							
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)							
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)							
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)							
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)							
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)							
		言語文化自由選択科目							箱・伊
		言語文化古典語科目							伊 都
		健康・スポーツ科学科目				健康・スポーツ科学演習(2)	2単位		箱・伊
		文系基礎科目							
		理系基礎科目				共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習A(1.5) 力学基礎・同演習B(1.5) 電磁気学(2) 無機物質化学(2) 自然科学総合実験(2)	15単位	
個別基礎科目	【必修科目】 微分積分統論(2) 図学(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 基礎製図(2)		4単位						
情報処理科目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 情報処理演習Ⅲ(1) ※4								
他専攻の専攻教育科目					箱・病・大・伊				
専 攻 教 育 科 目	低年次(第1学期)	機械工学・航空宇宙工学序論(2), 工業数学演習(1), 材料力学第一(2)	88単位		伊 都				
	(第2学期)	材料力学第二・同演習(3)							
	(第3学期)	数学ⅠA(2)							
	第4学期以降	工学部専攻教育科目履修の手引きを参照すること。							

- ※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができる。
- ※2 言語文化基礎科目の英語科目として「技術英語(1)」が2年次後期以降に伊都地区で開講される。
なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
- ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
また、次の科目を履修することが望ましい。
理系基礎科目の「基礎製図(2)」、情報処理科目の「情報処理演習Ⅲ(1)」、高年次教養科目の「課題科目Ⅲ(2)」(工学と倫理)
- ※4 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」「情報処理演習Ⅲ(1)」を修得すること。

芸術工学部：環境設計学科

【卒業要件：136単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、50単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A」が3年次前期、「学術英語B」が3年次後期に大橋地区で開講されるので履修すること。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、21単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目7科目13単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目3科目6単位を修得する。

共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から2単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

共通基礎科目の「数理統計学」、「細胞生物学」、個別基礎科目の「基礎化学熱力学」、「地球科学概論」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習V」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

芸術工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により6単位以上を修得する。

なお、上記の6単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

履修方法は、20ページの4「総合選択履修方式について」を参照すること。

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに48単位を、次の条件①と②の両方を満たすように修得しておかなければならない。

①「履修細目一覧」で示した卒業要件のうち、全学教育科目について、46単位を修得していること。

ただし、第1外国語については、卒業要件6単位のうち4単位までを算入の上限とする。

②総合選択履修方式により2単位以上を修得していること。

ただし、①及び②の条件を満たせば、学年途中であっても3年次以降に開設される専攻教育科目を履修できる。

履修細目一覧（芸術工学部：環境設計学科）

区分	授業科目	最低修得単位数			受講 ヤッパ入			
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合計				
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位		伊都 大橋			
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位					
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位	10単位	伊都		
		思想史(2)	人文地理学(2)					
		科学史(2)	教育学(2)					
		古典の世界(2)	心理学(2)					
		文学(2)	政治学(2)					
		芸術(2)	法学(2)					
		先史学(2)	日本国憲法(2)					
		歴史の認識(2)	社会学(2)					
		歴史と社会(2)	経済学(2)					
	理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)	4単位	10単位	伊都		
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)					
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)					
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)					
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)					
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)					
		物理学Ⅲ(2)	健康科学Ⅰ(2)					
		化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)					
		化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)					
地球科学Ⅱ(2)								
地球科学Ⅲ(2)								
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)						
総合科目		※1						
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目				箱・病・大・伊			
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 学術英語A(1), 学術英語B(1) ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1) フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1) 中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1) ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1) 韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1) スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1) 【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)	2か国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	6単位 ※3	136単位	伊都 大橋		
		言語文化自由選択科目				箱・伊		
		言語文化古典語科目					伊都	
		健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位			箱・伊	
		文系基礎科目						
		理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微積分学・同演習A(1.5) 微積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 力学基礎・同演習(3) 集団生物学(2) 自然科学総合実験(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 数理統計学(2) 細胞生物学(2)	13単位	21単位 ※4	伊都	
				個別基礎科目	【必修科目】 図学(2) 基礎製図(2) 空間表現実習(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 基礎化学熱力学(2) 地球科学概論(2)			6単位
		情報処理科目	【必修科目】 情報処理演習Ⅴ(1)	1単位				
専攻 教育 科目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊			
	低年次 (第1学期)		80単位		大橋			
	(第2学期)	芸術工学部学生便覧を参照すること。						
	(第3学期)							
第4学期以降	芸術工学部学生便覧を参照すること。							

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A(1)」は3年次前期、「学術英語B(1)」は3年次後期に大橋地区で開講される。
 なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 理系基礎科目の共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から2単位を修得する。

芸術工学部：工業設計学科

【卒業要件：136単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として（1）～（3）に従い、50単位以上を修得する。

（1）教養教育科目

（イ）共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

（ロ）言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A」が3年次前期、「学術英語B」が3年次後期に大橋地区で開講されるので履修すること。

（ハ）健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

（2）理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、21単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目7科目13単位を修得する。

個別基礎科目は必修科目2科目4単位を修得する。

共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から4単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

共通基礎科目の「電磁気学」、「細胞生物学」、「集団生物学」、個別基礎科目の「空間表現実習」

（3）情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習V」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

芸術工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により6単位以上を修得する。

なお、上記の6単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

履修方法は、20ページの4「総合選択履修方式について」を参照すること。

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに48単位を、次の条件①と②の両方を満たすように修得しておかなければならない。

①「履修細目一覧」で示した卒業要件のうち、全学教育科目について、46単位を修得していること。

ただし、第1外国語については、卒業要件6単位のうち4単位までを算入の上限とする。

②総合選択履修方式により2単位以上を修得していること。

ただし、①及び②の条件を満たせば、学年途中であっても3年次以降に開設される専攻教育科目を履修できる。

履修細目一覧（芸術工学部：工業設計学科）

区分	授業科目	最低修得単位数			受講 ヤバス	
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合計		
全 学 科 教 育 目 的	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	伊 都 大 橋	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位		
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位		10単位
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2)			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
		歴史と社会(2)	経済学(2)			
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)			
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)			
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)			
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)			
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)			
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)			
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)			
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)			
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)			
地球科学Ⅱ(2)						
地球科学Ⅲ(2)						
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)			
総合科目			※1			
高年次 教養科目	課題科目				箱・病・大・伊	
	主題科目					
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 学術英語A(1), 学術英語B(1)		2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	6単位 ※3 136単位	
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1)				
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)				
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)				
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)				
		言語文化自由選択科目				
		言語文化古典語科目				
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)		2単位		箱・伊 伊 箱・伊	
文系基礎科目						
理 系 基 礎 科 目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 数理統計学(2) 力学基礎・同演習(3)		13単位	21単位 ※4	
		自然科学総合実験(2) 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 電磁気学(2) 細胞生物学(2) 集団生物学(2)				
		個別基礎科目	【必修科目】 図学(2) 基礎製図(2)			4単位
			次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 空間表現実習(2)			
			【必修科目】 情報処理演習Ⅴ(1)			1単位
		情報処理科目				
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊	
	低年次 (第1学期)			80単位	大 橋	
	(第2学期)	芸術工学部学生便覧を参照すること。				
	(第3学期)					
第4学期以降	芸術工学部学生便覧を参照すること。					

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A(1)」は3年次前期、「学術英語B(1)」は3年次後期に大橋地区で開講される。
 なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18~19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 理系基礎科目の共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から4単位を修得する。

芸術工学部：画像設計学科

【卒業要件：136単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、50単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A」が2年次後期、「学術英語B」が3年次後期に大橋地区で開講されるので履修すること。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、21単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目6科目10単位を修得する。

共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から11単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

共通基礎科目の「力学基礎・同演習」、「電磁気学」、「細胞生物学」、「集団生物学」、
個別基礎科目の「基礎化学熱力学」、「地球科学概論」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習V」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

芸術工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により6単位以上を修得する。

なお、上記の6単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

履修方法は、20ページの4「総合選択履修方式について」を参照すること。

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに48単位を、次の条件①と②の両方を満たすように修得しておかなければならない。

①「履修細目一覧」で示した卒業要件のうち、全学教育科目について、46単位を修得していること。

ただし、第1外国語については、卒業要件6単位のうち4単位までを算入の上限とする。

②総合選択履修方式により2単位以上を修得していること。

ただし、①及び②の条件を満たせば、学年途中であっても3年次以降に開設される専攻教育科目を履修できる。

履修細目一覧（芸術工学部：画像設計学科）

区分	授業科目	最低修得単位数			受講 ヤパス				
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合計					
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	136単位	伊都 大橋			
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位					
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			10単位		
		思想史(2)	人文地理学(2)						
		科学史(2)	教育学(2)						
		古典の世界(2)	心理学(2)						
		文学(2)	政治学(2)						
		芸術(2)	法学(2)						
		先史学(2)	日本国憲法(2)						
		歴史の認識(2)	社会学(2)						
	理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)	4単位					
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)						
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)						
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)						
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)						
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)						
		物理学Ⅲ(2)	健康科学Ⅰ(2)						
		化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)						
		化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)						
		地球科学Ⅱ(2)							
	地球科学Ⅲ(2)								
	少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)						
	総合科目		※1						
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目			箱・病・大・伊					
教 育 目 的 科 目	言語 文化 科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 学術英語A(1), 学術英語B(1)	2カ国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	6単位 ※3	伊都 大橋				
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティムⅠ(1), ドイツ語プラクティムⅡ(1)							
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)							
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語L L(1), 中国語会話(1)							
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)							
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)							
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)							
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)							
		言語文化自由選択科目						箱・伊	
		言語文化古典語科目						伊都	
		健康・スポーツ科学科目				健康・スポーツ科学演習(2)	2単位		箱・伊
		文系基礎科目							
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5) 線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5) 数理統計学(2) 自然科学総合実験(2)	10単位	21単位 ※4	伊都				
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 力学基礎・同演習(3) 電磁気学(2) 細胞生物学(2) 集団生物学(2)							
	個別基礎科目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 基礎化学熱力学(2) 地球科学概論(2)							
		【必修科目】 情報処理演習Ⅴ(1)	1単位						
他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊					
専 攻 教 育 科 目	低年次 (第1学期)	芸術工学部学生便覧を参照すること。	80単位		大橋				
	(第2学期)								
	(第3学期)								
	第4学期以降								

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A(1)」は2年次後期、「学術英語B(1)」は3年次後期に大橋地区で開講される。
 なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 理系基礎科目の共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から11単位を修得する。

芸術工学部：音響設計学科

【卒業要件：136単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、50単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A」が2年次後期、「学術英語B」が3年次後期に大橋地区で開講されるので履修すること。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、21単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目8科目15単位を修得する。

共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から6単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

共通基礎科目の「細胞生物学」、「集団生物学」、個別基礎科目の「基礎化学熱力学」、「地球科学概論」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習V」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

芸術工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により6単位以上を修得する。

なお、上記の6単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

履修方法は、20ページの4「総合選択履修方式について」を参照すること。

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに48単位を、次の条件①と②の両方を満たすように修得しておかなければならない。

①「履修細目一覧」で示した卒業要件のうち、全学教育科目について、46単位を修得していること。

ただし、第1外国語については、卒業要件6単位のうち4単位までを算入の上限とする。

②総合選択履修方式により2単位以上を修得していること。

ただし、①及び②の条件を満たせば、学年途中であっても3年次以降に開設される専攻教育科目を履修できる。

履修細目一覧（芸術工学部：音響設計学科）

区分	授業科目	最低修得単位数			受講 キャンパス						
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合計							
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	6単位 ※3	136単位	伊都 大橋					
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位								
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)			6単位					
		思想史(2)	人文地理学(2)								
		科学史(2)	教育学(2)								
		古典の世界(2)	心理学(2)								
		文学(2)	政治学(2)								
		芸術(2)	法学(2)								
		先史学(2)	日本国憲法(2)								
		歴史の認識(2) 歴史と社会(2)	社会学(2) 経済学(2)								
	理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)	図形科学Ⅰ(2)			10単位					
		生物科学Ⅱ(2)	図形科学Ⅱ(2)								
		生物科学Ⅲ(2)	図形科学Ⅲ(2)								
		数学Ⅱ(2)	情報科学Ⅰ(2)								
		数学Ⅲ(2)	情報科学Ⅱ(2)								
		物理学Ⅱ(2)	情報科学Ⅲ(2)				4単位				
		物理学Ⅲ(2)	健康科学Ⅰ(2)								
		化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)								
		化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)								
		地球科学Ⅱ(2) 地球科学Ⅲ(2)									
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)									
総合科目		※1									
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目				箱・病・大・伊						
教 育 目 的	言語 文化 科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 学術英語A(1), 学術英語B(1)	2か国語必修 第1外国語 6単位 第2外国語 4単位 ※2	6単位 ※3	136単位	伊都 大橋					
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)									
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)									
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語L(1), 中国語会話(1)									
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)									
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)									
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)									
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)									
		言語文化自由選択科目									箱・伊
		言語文化古典語科目									伊都
		健康・スポーツ科学科目					健康・スポーツ科学演習(2)	2単位			箱・伊
		文系基礎科目					【必修科目】				
理系基礎科目	共通基礎科目	微分積分学・同演習A(1.5) 微分積分学・同演習B(1.5)	15単位	21単位 ※4	伊都						
		線形代数・同演習A(1.5) 線形代数・同演習B(1.5)									
		数理統計学(2) 力学基礎・同演習(3)									
	個別基礎科目	電磁気学(2) 自然科学総合実験(2)									
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)									
		細胞生物学(2) 集団生物学(2)									
情報処理科目	【必修科目】	1単位									
	情報処理演習Ⅴ(1)										
専 攻 教 育 科 目	他専攻の専攻教育科目					箱・病・大・伊					
	低年次 (第1学期)	芸術工学部学生便覧を参照すること。	80単位			大橋					
	(第2学期)										
	(第3学期)										
第4学期以降	芸術工学部学生便覧を参照すること。										

- ※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
- ※2 言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A(1)」は2年次後期、「学術英語B(1)」は3年次後期に大橋地区で開講される。
なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
- ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
- ※4 理系基礎科目の共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から6単位を修得する。

芸術工学部：芸術情報設計学科

【卒業要件：136単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(3)に従い、50単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A」が2年次後期、「学術英語B」が3年次後期に大橋地区で開講されるので履修すること。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目

理系基礎科目では、以下の条件に従い、21単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目7科目13単位を修得する。

共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から8単位を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

共通基礎科目の「電磁気学」、「細胞生物学」、「集団生物学」、

個別基礎科目の「基礎化学熱力学」、「地球科学概論」

(3) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習V」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として、低年次専攻教育科目を含めて80単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

芸術工学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により6単位以上を修得する。

なお、上記の6単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

履修方法は、20ページの4「総合選択履修方式について」を参照すること。

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに48単位を、次の条件①と②の両方を満たすように修得しておかなければならない。

①「履修細目一覧」で示した卒業要件のうち、全学教育科目について、46単位を修得していること。

ただし、第1外国語については、卒業要件6単位のうち4単位までを算入の上限とする。

②総合選択履修方式により2単位以上を修得していること。

ただし、①及び②の条件を満たせば、学年途中であっても3年次以降に開設される専攻教育科目を履修できる。

履修細目一覧（芸術工学部：芸術情報設計学科）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 ヤッパ		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計			
全 教 養 教 育 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	136単位	伊 都 大 橋	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位			
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			6単位 ※3
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2)				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
		理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)				
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)				
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)				
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)				
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)				
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)				
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)				
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)				
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)				
地球科学Ⅱ(2)							
地球科学Ⅲ(2)							
少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)				
総合科目			※1				
高年次 教養科目	課題科目				箱・病・大・伊		
教 育 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1)	学術英語A(1), 学術英語B(1)		6単位 ※3	伊 都 大 橋	
		ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1)	ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1)				
		ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)	ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)				
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1)	フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1)				
		フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)	フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)				
		中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1)	中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1)				
		中国語LL(1), 中国語会話(1)	中国語LL(1), 中国語会話(1)				
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1)	ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1)				
		ロシア語フォーラム(1)	ロシア語フォーラム(1)				
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1)	韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1)				
韓国語フォーラム(1)	韓国語フォーラム(1)						
スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1)	スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1)						
スペイン語フォーラム(1)	スペイン語フォーラム(1)						
【外国人留学生対象科目】							
日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1)	日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1)						
日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)	日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)						
言語文化自由選択科目				箱・伊			
言語文化古典語科目				伊 都			
健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)		2単位	箱・伊			
文系基礎科目							
理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】		13単位	21単位 ※4		
		微積分学・同演習A(1.5)	微積分学・同演習B(1.5)				
		線形代数・同演習A(1.5)	線形代数・同演習B(1.5)				
		数理統計学(2)	力学基礎・同演習(3)				
		自然科学総合実験(2)					
		次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)					
個別基礎科目	電磁気学(2)	細胞生物学(2)					
	集団生物学(2)						
	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)						
	基礎化学熱力学(2)	地球科学概論(2)					
情報処理科目	【必修科目】		1単位				
情報処理演習Ⅴ(1)							
専攻教育科目	他専攻の専攻教育科目				箱・病・大・伊		
	低年次 (第1学期)			80単位	大 橋		
	(第2学期)	芸術工学部学生便覧を参照すること。					
	(第3学期)						
第4学期以降	芸術工学部学生便覧を参照すること。						

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうち不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 言語文化基礎科目の英語科目として、「学術英語A(1)」は2年次後期、「学術英語B(1)」は3年次後期に大橋地区で開講される。
 なお、第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
 ※4 理系基礎科目の共通基礎科目及び個別基礎科目のうち、必修以外の科目から8単位を修得する。

農学部：生物資源環境学科

【卒業要件：134単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(2)に従い、50単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から2科目4単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 理系基礎科目及び情報処理科目

理系基礎科目及び情報処理科目では、以下の条件に従い、22単位以上を修得する。

共通基礎科目は必修科目8科目17単位を修得する。

個別基礎科目及び情報処理科目は次の科目から3科目5単位以上を修得する。

個別基礎科目「熱と波動論基礎(2)」、「基礎化学結合論(2)」、「分子生物学(2)」、「地球科学概論(2)」

情報処理科目「情報処理演習Ⅰ(1)」

2. 専攻教育科目

(1) コース概要科目

コース概要科目では、「生物資源生産科学概要(2)」、「応用生物科学概要(2)」、「地球森林科学概要(2)」、「動物生産科学概要(2)」を修得する。

(2) 共通基礎科目

共通基礎科目では、「基礎化学A(2)」、「基礎化学B(2)」、「基礎生物学(2)」、「生態系の科学(2)」、「アグリフードシステムと農学(2)」から3科目6単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

農学部の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により4単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

4. コース(分野)について

コース(分野)配属するためには、2年次前期終了までに、上記卒業要件に従い、下記のとおり全学教育科目の中から49単位以上及び専攻教育科目から14単位以上を修得しなければならない。

ただし、1科目のみ未修得の場合は、特別配属を行う。2科目以上未修得の場合は、次年度後期開始時までコースに配属されず、専攻教育科目の履修は制限される。

○教養教育科目〔上記(1)の卒業要件のうち、第1外国語1単位を 除くすべての科目を修得すること。〕	27単位以上	} 63単位
○理系基礎科目〔共通基礎科目の必修科目17単位の中から〕	17単位	
○「熱と波動論基礎」、「基礎化学結合論」、「分子生物学」、 「地球科学概論」及び「情報処理演習Ⅰ」	5単位以上	
○専攻教育科目 ・コース概要科目	8単位	
・共通基礎科目	6単位以上	

履修細目一覧（ 農学部 ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キ ャ ー ス		
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計			
全 学 科 目	共通コア科目	人間性(2)	社会性(2)	4単位	134単位	伊 都 箱 崎	
	コアセミナー	コアセミナー(2)		2単位			
	文 系 コ ア 科 目	哲学(2)	文化人類学(2)	6単位			4単位 ※3
		思想史(2)	人文地理学(2)				
		科学史(2)	教育学(2)				
		古典の世界(2)	心理学(2)				
		文学(2)	政治学(2)				
		芸術(2)	法学(2)				
		先史学(2)	日本国憲法(2) ※5				
		歴史の認識(2)	社会学(2)				
		歴史と社会(2)	経済学(2)				
		理 系 コ ア 科 目	生物科学Ⅰ(2)				
	生物科学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)				
	生物科学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)				
	数学Ⅱ(2)		情報科学Ⅰ(2)				
	数学Ⅲ(2)		情報科学Ⅱ(2)				
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅲ(2)				
	物理学Ⅲ(2)		健康科学Ⅰ(2)				
	化学Ⅱ(2)		健康科学Ⅱ(2)				
	化学Ⅲ(2)		健康科学Ⅲ(2)				
	地球科学Ⅱ(2)						
	地球科学Ⅲ(2)						
	少人数セミナー	少人数セミナー(2)		(2単位)			
総合科目			※1				
高年次 教養科目	課題科目				箱・病・大・伊		
	主題科目						
	社会連携科目						
教 育 科 目	言語文化基礎科目	英語Ⅰ(1), 英語ⅡA(1), 英語ⅡB(1), 英語ⅢA(1) 英語ⅢB(1), 英語Ⅳ(各1)	ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクムⅠ(1), ドイツ語プラクティクムⅡ(1)	2カ国語必修	4単位 ※3		
		フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1)	中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)	第1外国語 6単位			
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)	韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)	第2外国語 4単位			
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)	【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)	※2			
		言語文化自由選択科目					
		言語文化古典語科目					
		健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)	2単位			
		文系基礎科目					
		理系基礎科目	共通基礎科目	【必修科目】 微分積分学(2) 線形代数(2) 力学基礎・同演習(3) 無機物質化学(2) 有機物質化学(2) 細胞生物学(2) 集団生物学(2) 自然科学総合実験(2)		17単位	
				個別基礎科目 次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目) 熱と波動論基礎(2) 基礎化学結合論(2) 分子生物学(2) 地球科学概論(2)		5単位 ※4	
情報処理科目	次の科目を修得することが望ましい。 (推奨科目)						
	情報処理演習Ⅰ(1) ※5						
他専攻の専攻教育科目					箱・病・大・伊		
専攻教育科目	低年次(第1学期)	次の科目のうち未履修科目を履修することが望ましい 生物学基礎概要(2), 物理学基礎概要(2)					
	(第2学期)	コース 概要 科目	【必修科目】 生物資源生産科学概要(2) 応用生物科学概要(2) 地球森林科学概要(2) 動物生産科学概要(2)	80単位	箱 崎		
	(第3学期)		共通 基礎 科目 基礎化学A(2), 基礎化学B(2), 基礎生物学(2) 生態系の科学(2), アグリフードシステムと農学(2) 上記科目の中から, 3科目6単位以上修得すること。				
	第4学期以降	農学部の学部履修案内を参照のこと。					

- ※1 少人数セミナー, 総合科目の中から2単位に限り, 文系コア科目, 理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
- ※2 第1外国語, 第2外国語の履修については, 18~19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
- ※3 総合選択履修方式において, 3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。
- ※4 個別基礎科目と情報処理科目の推奨科目の中から5単位以上を修得すること。
- ※5 教育職員免許状の取得を希望する学生は「日本国憲法(2)」, 「情報処理演習Ⅰ(1)」を修得すること。

21世紀プログラム

【卒業要件：124単位】

1. 全学教育科目

全学教育科目は、卒業要件として(1)～(2)に従い、33単位以上を修得する。

(1) 教養教育科目

(イ) 共通コア科目・コアセミナー・文系コア科目・理系コア科目・少人数セミナー・総合科目

教養教育科目では、共通コア科目の「人間性」、「社会性」及び「コアセミナー」を修得する。

さらに、以下の条件に従い、12単位以上を修得する。

文系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

理系コア科目の中から3科目6単位以上を修得する。

なお、少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

(ロ) 言語文化基礎科目

言語文化基礎科目では、第1外国語7単位以上、第2外国語5単位以上を修得する。

(ハ) 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目では、「健康・スポーツ科学演習」を修得する。

(2) 情報処理科目

情報処理科目では、「情報処理演習I」を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として76単位以上を修得する。

3. 総合選択履修方式

21世紀プログラムの卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により15単位以上を修得する。

なお、上記単位のうち2単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

履修細目一覧（ 21世紀プログラム ）

区 分	授 業 科 目	最低修得単位数			受 講 キャンパス	
		科目区分毎 の単位数	総合選択 履修方式	合 計		
全 学 養 教 育 科 目	共通コア科目	人間性(2) 社会性(2)	4単位	15単位 ※3	伊 都	
	コアセミナー	コアセミナー(2)	2単位			
	文系コア科目	哲学(2)	文化人類学(2)			6単位
		思想史(2)	人文地理学(2)			
		科学史(2)	教育学(2)			
		古典の世界(2)	心理学(2)			
		文学(2)	政治学(2)			
		芸術(2)	法学(2)			
		先史学(2)	日本国憲法(2)			
		歴史の認識(2)	社会学(2)			
		歴史と社会(2)	経済学(2)			
		理系コア科目	生物科学Ⅰ(2)			
	生物科学Ⅱ(2)		地球科学Ⅱ(2)			
	生物科学Ⅲ(2)		地球科学Ⅲ(2)			
	数学Ⅰ(2)		図形科学Ⅰ(2)			
	数学Ⅱ(2)		図形科学Ⅱ(2)			
	数学Ⅲ(2)		図形科学Ⅲ(2)			
	物理学Ⅰ(2)		情報科学Ⅰ(2)			
	物理学Ⅱ(2)		情報科学Ⅱ(2)			
	物理学Ⅲ(2)		情報科学Ⅲ(2)			
	化学Ⅰ(2)		健康科学Ⅰ(2)			
化学Ⅱ(2)	健康科学Ⅱ(2)					
化学Ⅲ(2)	健康科学Ⅲ(2)					
少人数セミナー	少人数セミナー(2)	(2単位)				
総合科目		※1				
高年次 教養科目	課題科目 主題科目 社会連携科目					
言 語 文 化 科 目	言語文化基礎科目	英語ⅡA(1), 英語ⅢA(1), 英語Ⅳ(各1), 英文読解演習A(1) 英文読解演習B(1), 英文作成演習A(1), 英文作成演習B(1) ドイツ語Ⅰ(各1), ドイツ語Ⅱ(各1), ドイツ語Ⅲ(各1) ドイツ語プラクティクⅠ(1), ドイツ語プラクティクⅡ(1) フランス語Ⅰ(各1), フランス語Ⅱ(各1), フランス語Ⅲ(各1) フランス語プラクティクⅠ(1), フランス語プラクティクⅡ(1) 中国語Ⅰ(各1), 中国語Ⅱ(各1), 中国語Ⅲ(各1) 中国語LL(1), 中国語会話(1)	2カ国語必修 第1外国語 7単位	124単位	伊 都	
		ロシア語Ⅰ(2), ロシア語Ⅱ(2), ロシア語Ⅲ(各1) ロシア語フォーラム(1)	第2外国語 5単位			
		韓国語Ⅰ(各1), 韓国語Ⅱ(各1), 韓国語Ⅲ(各1) 韓国語フォーラム(1)	※2			
		スペイン語Ⅰ(2), スペイン語Ⅱ(各1), スペイン語Ⅲ(各1) スペイン語フォーラム(1)				
		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(各1), 日本語Ⅲ(各1), 日本語Ⅳ(各1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)				
		言語文化自由選択科目				
		言語文化古典語科目				
		健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習(2)			2単位
		文系基礎科目				
		理系基礎科目	共通基礎科目 個別基礎科目			
情報処理科目	【必修科目】 情報処理演習Ⅰ(1)	1単位				
他専攻の専攻教育科目			箱・病・大・伊			
専攻教育科目	低年次 (第1学期) (第2学期) (第3学期) 第4学期以降	21世紀プログラム学生の手引きを参照のこと。 76単位		伊 都 箱 崎 病 院 大 橋		

※1 少人数セミナー、総合科目の中から2単位に限り、文系コア科目、理系コア科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。
 ※2 第1外国語、第2外国語の履修については、18～19ページ(6)の「(イ)言語文化基礎科目」を参照のこと。
 ※3 総合選択履修方式において、3年次以降に2単位以上修得することが望ましい。

V. 規則，開講学期など

九州大学全学教育科目履修規則(抄)

(平成23年10月1日改正)

(趣旨)

第1条 この規則は、九州大学学部通則(平成16年九大規則第2号。以下「通則」という。)第15条第2項の規定に基づき、全学教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(全学教育科目)

第2条 全学教育科目の区分は、次のとおりとする。

教養教育科目
 共通コア科目
 コアセミナー
 文系コア科目
 理系コア科目
 少人数セミナー
 総合科目
 高年次教養科目
 課題科目
 主題科目
 社会連携科目
 言語文化科目
 言語文化基礎科目
 言語文化自由選択科目
 言語文化古典語科目
 健康・スポーツ科学科目
文系基礎科目
理系基礎科目
 共通基礎科目
 個別基礎科目
情報処理科目

(授業科目及び単位数)

第3条 全学教育科目の授業科目の名称及び単位数は、別表1のとおりとする。

2 別表1の総合科目について、その充実を図るため適当と認められる場合は、あらかじめ九州大学全学教育実施規則(平成19年度九大規則第2号)第4条に規定する全学教育運営会議(以下「運営会議」という。)の議を経て、基幹教育院長が授業科目及び単位数を定めて開設することができる。

(単位の計算)

第4条 前条の授業科目の単位は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の各号に定めるところにより計算するものとする。

- (1) 講義は、15時間をもって1単位とする。
- (2) 演習は、30時間をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技は、30時間をもって1単位とする。

(履修手続)

第5条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに、基幹教育院長を経て、学部長に届け出なければならない。

(単位修得の認定)

第6条 授業科目の単位修得の認定は、試験により行うものとし、試験に合格した者には所定の単位を与える。ただし、平常の成績をもって、試験の成績に代えることができる。

2 試験を受けることのできる授業科目は、前条の規定による手続を経て授業を受けた者に限る。

第7条 試験は、原則として、各学期末に行う。ただし、特別の必要があるときは、運営会議の議を経て適宜の時期に行うことができる。

第8条 試験の成績は, 100点法により評価し, 60点以上をもって合格とする。

2 成績の評語は, 共通コア科目以外の科目にあたっては次の区分によりA, B, C, D及びFで表すものとし, 共通コア科目にあつては合格及び不合格で表すものとする。

- A 90点以上
- B 80点以上90点未満
- C 70点以上80点未満
- D 60点以上70点未満
- F 60点未満

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか, 全学教育科目の実施に関し必要な事項は, 別に定める。

附 則

この規則は, 平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年度九大規則第56号)

- 1 この規則は, 平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の九州大学全学教育科目履修規則第2条, 第3条及び別表の規定は, 平成18年度に九州大学に入学する者から適用し, 平成18年3月31日に九州大学に在学し, 同年4月1日以降も引き続き在学する者については, なお従前の例による。

附 則(平成18年度九大規則第20号)

この規則は, 平成18年6月1日から施行する。

附 則(平成18年度九大規則第119号)

- 1 この規則は, 平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の九州大学全学教育科目履修規則は, 平成19年度に九州大学に入学する者から適用し, 平成19年3月31日に九州大学に在学し, 同年4月1日以降も引き続き在学する者については, なお従前の例による。

附 則(平成19年度九大規則第9号)

- 1 この規則は, 平成19年7月20日から施行する。
- 2 改正後の九州大学全学教育科目履修規則第8条の規定は, 平成19年度に本学に入学する者から適用し, 平成19年3月31日に本学に在学し, 同年4月1日以降も引き続き在学する者については, なお従前の例による。

附 則(平成19年度九大規則第74号)

- 1 この規則は, 平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の九州大学全学教育科目履修規則は, 平成18年度に九州大学に入学する者から適用し, 平成18年3月31日に本学に在学し, 同年4月1日以降も引き続き在学する者については, なお従前の例による。

附 則(平成22年度九大規則第21号)

この規則は, 平成22年10月1日から施行する。

附 則(平成23年度九大規則第53号)

- 1 この規則は, 平成23年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学全学教育科目履修規則別表2の規定は, 平成23年10月1日に九州大学に入学する者から適用し, 同年9月30日に九州大学に在学し, 同年10月1日以降も引き続き在学する者については, なお従前の例による。

(備考) 第3条の「別表1」及び第3条の2(国際コース関係)については, 省略する。

全学教育科目の授業科目の名称及び単位数については, 『全学教育科目履修要項』の「全学教育の開講学期」を参照のこと。

全学教育科目の履修・試験・成績に関する内規

平成 9 年 4 月 3 日	全学共通教育実施委員会
平成 9 年 5 月 27 日	教務委員会
平成 13 年 2 月 9 日	全学共通教育実施委員会
平成 13 年 4 月 25 日	全学教育実施委員会
平成 17 年 1 月 26 日	全学教育実施委員会
平成 18 年 2 月 21 日	全学教育専門委員会
平成 18 年 7 月 18 日	全学教育運営会議
平成 19 年 6 月 1 日	全学教育運営会議
平成 19 年 7 月 9 日	全学教育運営会議
平成 21 年 2 月 5 日	全学教育運営会議
平成 21 年 12 月 15 日	全学教育運営会議
平成 23 年 10 月 26 日	全学教育運営会議

本内規は、九州大学全学教育科目履修規則（以下、「履修規則」という。）第9条に基づき、定めるものである。

（履修手続き）

第1条 学生は、各学期始めに履修を希望する科目の担当教員に聴講届を提出して、履修の許可を受けるとともに、所定の期日までに履修登録をしなければならない。（注 履修規則第5条）

（単位と成績）

第2条 各科目の単位は、授業終了後その成績によって与えられる。

2 成績は、試験の結果と平素の学習状態とを総合して判定する。なお、実験、実習及び健康・スポーツ科学演習等については、平素の学習成績を試験に代えることがある。（注 履修規則第6条）

第3条 成績は100点法により評価し、60点以上をもって合格とする。評点は、次の区分により、A、B、C、D、Fの評語で表示する。（注 履修規則第8条）

- A 90点以上
- B 80点以上90点未満
- C 70点以上80点未満
- D 60点以上70点未満
- F 60点未満

共通コア科目の成績は、合格、不合格の評語で表示する。

第4条 成績は、試験終了後に担当教員からの報告に基づき、学生へ通知する。
なお、評点は発表しない。

第5条 一度修得した単位は、学生の希望によって取り消すことができない。また、一度修得した単位を更に修得することはできない。

（定期試験）

第6条 定期試験は、原則として各学期末に行う。ただし、特別の必要があるときは、全学教育運営会議の議を経て、適宜の時期に行うことがある。（注 履修規則第7条）

第7条 定期試験の受験資格は、所定の期日までに所定の履修登録を行った学生にのみ与えられる。

（追試験）

第8条 定期試験を受験できなかった学生については、病気、その他正当な理由があると全学教育運営会議が承認した場合に限り、追試験を行う。

第9条 追試験を希望する学生は、定められた期日までに出願理由を証明する書類を添えて願書を基幹教育院長に提出しなければならない。

第10条 追試験の成績は、得点の90%以下とする。

第11条 公認欠席として取扱う事由による追試験の得点については、前条を適用しない。

（実施細則）

第12条 この内規の実施に関し、必要な事項は、全学教育運営会議が細則で定める。

附 則

この内規は平成13年度から実施する。

附 則

1 この内規は平成19年4月1日から適用する。

2 改正後の規定は、平成19年度に本学に入学する者から適用し、平成19年3月31日に本学に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則

この内規は平成23年1月1日から適用する。

附 則

この内規は平成23年10月26日から施行し、平成23年10月1日から適用する。

全学教育科目の開講学期

- (1) 以下の表は, 全学教育科目の各科目がどの学期で開講するかを示すも
 (2) 授業時間割編成にあたって一部変更する場合は, 掲示により発表します。
 (3) $\overbrace{|4|4|4|4|}$, $\overbrace{|2|2|2|}$ のように $\overbrace{\hspace{1cm}}$ で結んでいる科目は, いずれかの学期に4時間
 または2時間開講することを示します。

区 分	科 目	単 位 数	毎週授業時間数				履修上の注意	
			第 一 学 期	第 二 学 期	第 三 学 期	第 四 学 期		
共通コア科目	人 間 性	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$				
	社 会 性	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$				
コアセミナー	コ ア セ ミ ナ ー	2	2					
教 養 教 育 科 目	文 系 コ ア 科 目	哲 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		思 想 史	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		科 学 史	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		古 典 の 世 界	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		文 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		芸 術	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		先 史 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		歴 史 の 認 識	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		歴 史 と 社 会	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		文 化 人 類 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		人 文 地 理 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		教 育 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		心 理 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		政 治 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		法 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		日 本 国 憲 法	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		社 会 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		経 済 学	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
		理 系 コ ア 科 目	理 系 コ ア 科 目	生 物 科 学 I	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
生 物 科 学 II	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
生 物 科 学 III	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
数 学 I	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
数 学 II	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
数 学 III	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
物 理 学 I	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
物 理 学 II	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
物 理 学 III	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
化 学 I	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
化 学 II	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
化 学 III	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
地 球 科 学 I	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
地 球 科 学 II	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
地 球 科 学 III	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
図 形 科 学 I	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
図 形 科 学 II	2			$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	
図 形 科 学 III	2	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$	$\overbrace{2}$			

V. 規則, 開講学期など

区 分	科 目	単位数	毎週授業時間数				履修上の注意	
			第一学期	第二学期	第三学期	第四学期		
教 養 教 育 科 目	理系コア科目	情 報 科 学 I	2	2	2	2		
		情 報 科 学 II	2	2	2	2		
		情 報 科 学 III	2	2	2	2		
		健 康 科 学 I	2	2	2	2		
		健 康 科 学 II	2	2	2	2		
		健 康 科 学 III	2	2	2	2		
	少人数セミナー	少 人 数 セ ミ ナ ー	2	2	2			
	総合科目	日 本 事 情	2	2	2	2	外国人留学生は文系コア科目の修得に代えることができる。(2単位まで)	
								開講科目と単位については, 各年度の「履修の手引き」に記載されている。
	高 年 次 教 養 科 目	課題科目	課 題 科 目 I					
			課 題 科 目 II					
			課 題 科 目 III					
			課 題 科 目 IV					
			課 題 科 目 V					
		主題科目	文系主題科目 I					
文系主題科目 II								
文系主題科目 III								
文系主題科目 IV								
文系主題科目 V								
文系主題科目 VI								
文系主題科目 VII								
理系主題科目 I								
理系主題科目 II								
理系主題科目 III								
理系主題科目 IV								
理系主題科目 V								
理系主題科目 VI								
理系主題科目 VII								
理系主題科目 VIII								
社会科連携	ボランティア活動 I							
	ボランティア活動 II							
	インターンシップ I							
	インターンシップ II							

区 分	科 目	単 位 数	毎週授業時間数				履修上の注意		
			第 一 学 期	第 二 学 期	第 三 学 期	第 四 学 期			
教 養 教 育 科 目	言 語 文 化 基 礎 科 目	第 一 外 国 語	英 語	7	4	4	4	2	文・教育・法・経済学部・ 21世紀プログラム※
			シ ン	7	4	4	6	※ 21世紀プログラムの英語については、 課程の指示に従ってください。	
			ア ン	6	4	4	2	2	理・工・芸術工・農学部
			ス ペ	6	4	4	4		
		第 二 外 国 語	ド イ	5	4	4	2	文・教育・法・経済学部・ 21世紀プログラム※	
			ツ ラ	4	4	4		理・工・芸術工・農学部	
			ン シ	4	4	4			
			ス ア	4	4	4			
	医・歯・薬学部	第 一 外 国 語	英 語	6	4	4	2	2	医・歯・薬学部の学生は、第1外国語は 英語、第2外国語はドイツ語、フランス 語、中国語、ロシア語、韓国語及びス ペイン語から選択。 ただし、外国人留学生は、日本語を第2 外国語として、選択することができる。
		第 二 外 国 語	ド イ	4	4	4			
	外国人留 学生科目	日 本 語	各 1					第1, 第2外国語として選択できる。 ただし、医・歯・薬学部の学生は、第2外 国語としてのみ選択できる。	
	言語文化自由選 択科目	英 語						総合選択履修方式対象科目として、第3 学期以降に開講される。	
言語文化 古典語科目	古 典	1	2	2	2				
	ラ テ	1	2	2	2				

区分	科目	単位数	毎週授業時間数				履修上の注意	
			第一学期	第二学期	第三学期	第四学期		
教養教育科目	健康・スポーツ科学科目	健康・スポーツ科学演習	2	2			総合選択履修方式対象科目として、伊都地区で開講される。	
		身体運動科学実習Ⅰ	1		2			
		身体運動科学実習Ⅱ	1			2		
		健康・スポーツ科学講義Ⅰ	2		2			
		健康・スポーツ科学講義Ⅱ	2			2		
		身体運動科学実習Ⅲ	1					高年次履修の総合選択履修方式対象科目として、第5学期以降から箱崎地区及び伊都地区で開講される。
		身体運動科学実習Ⅳ	1					
文系基礎科目	現代社会／現代史	2	2	2				
	人文学入門	2	2			文学部学生は、履修することができない。		
	教育学入門	2		2		教育学部学生は、履修することができない。		
	政治の世界	2		2		法学部学生は、履修することができない。		
	法の世界	2	2			法学部学生は、履修することができない。		
	経済学入門	2		2		経済学部学生は、履修することができない。		
理系基礎科目	共通基礎科目	微分積分学・同演習A	1.5	2			微分積分学・同演習Aに引き続き、微分積分学・同演習Bを履修する。	
		微分積分学・同演習B	1.5		2			
		微分積分学	2	2	2		微分積分学・同演習A, Bを履修した者は、履修することができない。	
		線形代数・同演習A	1.5	2			線形代数・同演習Aに引き続き、線形代数・同演習Bを履修する。	
		線形代数・同演習B	1.5		2			
		線形代数	2	2	2		線形代数・同演習A, Bを履修した者は、履修することができない。	
		数理統計学	2			2		
		力学基礎・同演習	3	4	4		力学基礎・同演習A, Bとの重複履修は認められない。	
		力学基礎・同演習A	1.5	2	2		力学基礎・同演習Aに引き続いて力学基礎・同演習Bを履修する。力学基礎・同演習との重複履修は認められない。	
		力学基礎・同演習B	1.5		2	2		
		電磁気学	2		2	2		
		無機物質化学	2	2	2	2		
		有機物質化学	2	2	2	2		
		細胞生物学	2	2	2	2		
	集団生物学	2	2	2	2			
	自然科学総合実験	2		4	4			
	個別基礎科目	微分積分続論	2			2		
		基礎数学演習Ⅰ	1	2				
		基礎数学演習Ⅱ	1		2			
		基礎数学演習Ⅲ	1			2		
		熱と波動論基礎	2		2	2		
		現代物理学入門	2		2			
		基礎化学結合論	2	2		2		
		基礎化学熱力学	2		2	2		
		分子生物学	2			2		
		地球科学概論	2		2	2		
図学		2	2	2				
基礎製図		2		4	4			
空間表現実習	2		4	4				

区 分	科 目	単 位 数	毎週授業時間数				履修上の注意
			第 一 学 期	第 二 学 期	第 三 学 期	第 四 学 期	
情報処理科目	情報処理演習Ⅰ	1	2	2			いずれか1科目のみ履修できる。
	情報処理演習Ⅱ	1	2				
	情報処理演習Ⅲ	1	2	2			
	情報処理演習Ⅳ	1		2			
	情報処理演習Ⅴ	1	2				

付録

1. この「聴講届」は、授業開始の第1週目に各授業担当教員に提出して下さい。
2. 2年次後期までの4学期分ありますので、紛失したりしないようにしてください。
3. 3年次以降は、この聴講届は使用できませんので、聴講届が必要な場合は、全学教育教務係窓口で「学生証」を提示のうえ、必要枚数を受領してください。

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

付録

- この「聴講届」は、授業開始の第1週目に各授業担当教員に提出して下さい。
- 2年次後期までの4学期分ありますので、紛失したりしないようにしてください。
- 3年次以降は、この聴講届は使用できませんので、聴講届が必要な場合は、全学教育教務係窓口で「学生証」を提示のうえ、必要枚数を受領してください。

聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届
授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名
担当教員	担当教員	担当教員	担当教員	担当教員	担当教員
曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限
文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理
学生番号	学生番号	学生番号	学生番号	学生番号	学生番号
氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名

聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届
授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名
担当教員	担当教員	担当教員	担当教員	担当教員	担当教員
曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限
文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理
学生番号	学生番号	学生番号	学生番号	学生番号	学生番号
氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名

聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届	聴 講 届
授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名	授業科目名
担当教員	担当教員	担当教員	担当教員	担当教員	担当教員
曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限	曜日・時限
文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理	文 科 年 組 理
学生番号	学生番号	学生番号	学生番号	学生番号	学生番号
氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名

付録

- この「聴講届」は、授業開始の第1週目に各授業担当教員に提出して下さい。
- 2年次後期までの4学期分ありますので、紛失したりしないようにしてください。
- 3年次以降は、この聴講届は使用できませんので、聴講届が必要な場合は、全学教育教務係窓口で「学生証」を提示のうえ、必要枚数を受領してください。

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

聴 講 届	
授業科目名	
担当教員	
曜日・時限	
文 科 年 組 理	
学生番号	
氏 名	

《 ㄨ ㄨ 》

九州大学大学院入学試験の外国語試験科目について

この表を参考とするにあたっては次の事項に注意してください。

1. 外国人留学生については、各学府で取り扱いが異なります。
2. 詳細については、各学府が発行する学生募集要項等を見てください。
3. この表は平成24年1月現在のものであり、変更されることもあります。

1. 人文科学府

専攻名	専修名	外国語
人文基礎専攻	哲学	英語、独語、仏語、中国語、朝鮮語（韓国語）のうち1つ
	倫理学	
	インド哲学史	
	中国哲学史	
	芸術学	
歴史空間論専攻	日本史学	
	東洋史学	
	朝鮮史学	
	考古学	
	西洋史学	
	イスラム文明史学	
	地理学	
言語・文学専攻	国語学・国文学	
	中国文学	
	英語学・英文学	
	独文学	
	仏文学	
	言語学	

(注意)「英語学・英文学」は英語を、「独文学」は独語を、「仏文学」は仏語を、「中国文学」は中国語を選ぶことはできない。

2. 人間環境学府

専攻名	コース名	外国語
都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学コース 都市災害管理学コース	英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。
	持続都市建築システム国際コース	語学試験なし
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。
	共生社会学コース	英語
行動システム専攻	心理学コース	英語（前期日程のみ。後期日程は語学試験なし）
	健康行動学コース	英語
教育システム専攻	現代教育実践システムコース 総合人間形成システムコース	英語、独語、仏語、中国語、朝鮮語（韓国語）のうち1つ
空間システム専攻	建築計画学コース	英語
	建築環境学コース 建築構造学コース	※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。
	持続都市建築システム国際コース	語学試験なし
実践臨床心理学専攻		英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。

3. 各学府（人文科学府・人間環境学府を除く）

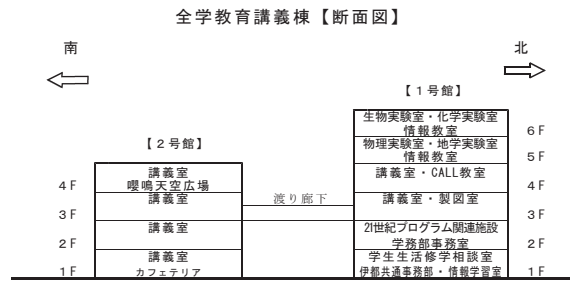
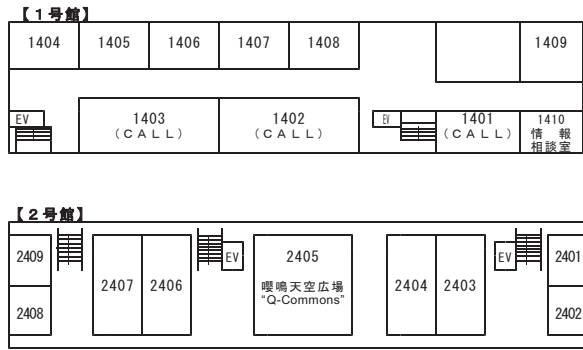
学 府 名	専 攻 名	外 国 語
比較社会文化学府	日本社会文化専攻 国際社会文化専攻	英語，独語，仏語，ロシア語，中国語，朝鮮語（韓国語）， スペイン語のうち1つ
法学府	法政理論専攻	英語，独語，仏語，中国語，朝鮮語（韓国語）のうち1つ
法務学府 （法科大学院）	実務法学専攻	基礎的な英語力を確認する問題は含まない。
経済学府	経済工学専攻 経済システム専攻	第1外国語：英語（必須） 第2外国語： 経済工学専攻……英語 経済システム専攻…英語，独語，仏語，中国語，韓国語の うちから1カ国語選択 ※TOEFLのスコアで代替可
	産業マネジメント専攻	英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。
理学府	物理学専攻 化学専攻 地球惑星科学専攻	英語 ※物理学専攻および地球惑星科学専攻は英語検定試験（TOEIC 又はTOEFL）のスコアを利用する。 ※化学専攻は英語検定試験（TOEIC）のスコアを利用する。
数理学府	数理学専攻	語学試験なし
システム生命科学府	システム生命科学専攻	英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。
医学系学府	医学専攻	英語
	医科学専攻	英語
	医療経営・管理学専攻	英語（前期のみ）
	保健学専攻	英語（小論文）
歯学府	歯学専攻	英語
薬学府	創薬科学専攻	英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。
工学府	物質創造工学専攻 物質プロセス工学専攻 材料物性工学専攻 化学システム工学専攻 建設システム工学専攻 都市環境システム工学専攻 海洋システム工学専攻 地球資源システム工学専攻 エネルギー量子工学専攻 機械工学専攻 水素エネルギーシステム専攻 航空宇宙工学専攻	英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。 （筆記試験と併用する専攻もある。）
芸術工学府	芸術工学専攻 デザインストラテジー専攻	英語
システム情報科学府	情報学専攻 情報知能工学専攻 電気電子工学専攻	英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。
統合新領域学府	ユーザー感性学専攻	感性科学コース：英語（口頭試問） 感性コミュニケーションコース：語学試験なし 感性価値クリエーションコース：語学試験なし
	オートモーティブサイエンス専攻	英語 ※英語検定試験（TOEIC又はTOEFL）のスコアを利用する。
	ライブライサイエンス専攻	英語（口頭試問）
総合理工学府	量子プロセス理工学専攻 物質理工学専攻 先端エネルギー理工学専攻 環境エネルギー工学専攻 大気海洋環境システム学専攻	英語 ※英語検定試験（TOEIC等）のスコアを利用する。
生物資源環境科学府	資源生物科学専攻 環境農学専攻 農業資源経済学専攻 生命機能科学専攻	英語 ※TOEFL-ITP（LEVEL1）を大学院入学試験場で実施する。 ただし，入学試験では，Listening Comprehensionは合否 判定には利用しない。



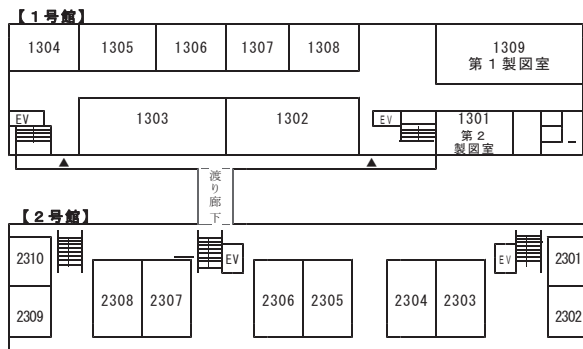
1	守衛所	
2	ビッグオレンジ	情報発信拠点、書店、レストラン 〔1F〕 学生相談・修学相談室、情報学習室、伊都共通事務部 〔2F〕 学務部事務室
3	センター1号館	〔3, 4F〕 講義室、〔3F〕 製図室、〔4F〕 CALL 教室、情報相談室 〔5F〕 iCube サポートデスク、〔5, 6F〕 実験室、情報教室
4	センター2号館	〔1F〕 カフェ・軽食 QASIS、学習サポート室 〔1~4F〕 講義室、〔4F〕 嚶鳴天空広場
5	比文等事務棟	
6	比文・言文研究教育棟	
7	ビッグさんど (生活支援施設)	〔1F, 地下〕 食堂、〔1F〕 コンビニ、ATM、〔2F〕 健康相談室
8	多目的グラウンド	
9	総合体育館	
10	課外活動施設 I	
11	テニスコート (オムニ)	
12	伊都図書館	

伊都地区センターゾーン（全学教育関連）教室等配置図

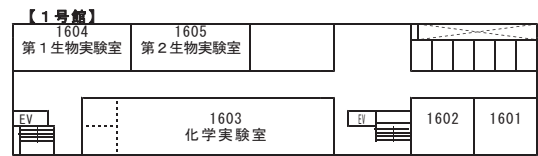
【4階】



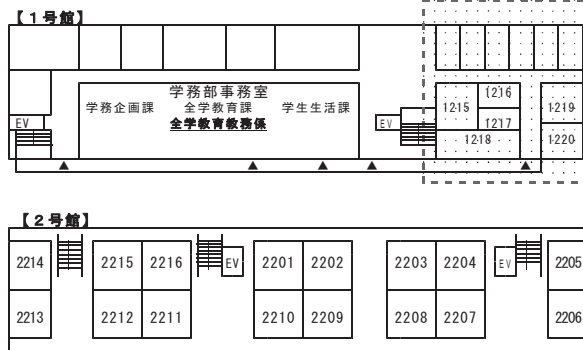
【3階】



【6階】



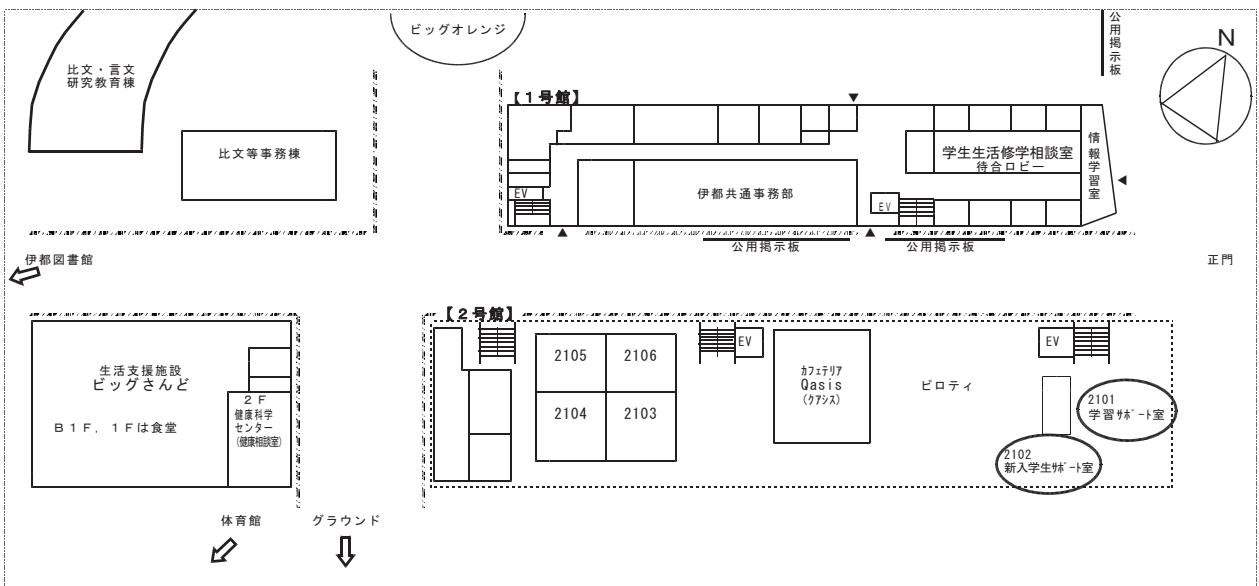
【2階】



【5階】



【1階】



全学教育関連の重要な情報は
伊都地区センターゾーンの「公用掲示板」に掲示されます。
必ず毎日確認するようにしてください。

《 全学教育関連のWebページ 》

◆ 全学教育ホームページ

<http://rche.kyushu-u.ac.jp/>

◆ 電子掲示板〔休講・補講など〕

携帯電話 <http://zkinfo.gened.kyushu-u.ac.jp/m/>

パソコン <http://zkinfo.gened.kyushu-u.ac.jp/>



◆ シラバス

<http://syllabus.kyushu-u.ac.jp/>

◆ 学務情報システム（学生用Webシステム）〔履修登録・成績確認〕

<http://www.kyushu-u.ac.jp/student/education/rishu.php>

学 部	学 科	ク ラ ス	学 生 番 号	氏 名

「全学教育科目履修要項」は卒業するまで紛失しないようにしてください。

平成24年度 全学教育科目履修要項
作成：九州大学学務部全学教育課